

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6183077号  
(P6183077)

(45) 発行日 平成29年8月23日 (2017. 8. 23)

(24) 登録日 平成29年8月4日 (2017. 8. 4)

(51) Int. Cl.

F I

G 0 6 Q 50/22 (2012.01)

G 0 6 Q 50/22

請求項の数 7 (全 54 頁)

(21) 出願番号 特願2013-184482 (P2013-184482)  
 (22) 出願日 平成25年9月5日 (2013. 9. 5)  
 (65) 公開番号 特開2015-52857 (P2015-52857A)  
 (43) 公開日 平成27年3月19日 (2015. 3. 19)  
 審査請求日 平成28年5月10日 (2016. 5. 10)

(73) 特許権者 000005223  
 富士通株式会社  
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
 1号  
 (74) 代理人 100104190  
 弁理士 酒井 昭徳  
 (72) 発明者 熊野 健志  
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
 1号 富士通株式会社内  
 (72) 発明者 山野 大偉治  
 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番  
 1号 富士通株式会社内

審査官 大野 朋也

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 精神疾患予防支援方法、精神疾患予防支援プログラム、および精神疾患予防支援装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶する利用者記憶部を有するコンピュータが、

前記メンバーの識別情報に対応する第1の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第1の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第1の情報処理装置から前記第1の入力画面に入力された前記コメントまたは／および前記指標値を受信し、

受信した前記コメントまたは／および前記指標値を前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶部に記憶し、

前記支援者の識別情報に対応する第2の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の要否を示す情報を入力する第2の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

前記第2の情報処理装置から前記第2の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第3の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信し、

前記グループに属する他のメンバーの識別情報に対応する第5の情報処理装置に、前記メンバーへのメッセージを入力する第3の入力画面を表す画面情報を送信し、

10

20

前記第 5 の情報処理装置から前記第 3 の入力画面に入力された前記メッセージを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、前記他のメンバーの識別情報と、受信した前記メッセージとを、前記記憶部に記憶し、

前記第 1 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する、

処理を実行することを特徴とする精神疾患予防支援方法。

【請求項 2】

前記利用者記憶部は、前記グループを管理する管理者を識別する管理者の識別情報を記憶し、

前記コンピュータが、

前記管理者の識別情報に対応する第 4 の情報処理装置に、前記記憶部に記憶された指標値に基づく前記グループにおける指標値の統計情報を送信する、

処理を実行することを特徴とする請求項 1 に記載の精神疾患予防支援方法。

【請求項 3】

前記コンピュータが、

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報と、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された指標値と他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する、

処理を実行することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の精神疾患予防支援方法。

【請求項 4】

前記コンピュータが、

前記グループを管理する管理者に対応する第 4 の情報処理装置に、前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとに基づく前記グループにおけるメッセージの統計情報を送信する、

処理を実行することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

【請求項 5】

前記第 2 の入力画面は、さらに、前記メンバーのコメントに対する応答コメントを入力する画面であって、

前記コンピュータが、

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記応答コメントを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、受信した前記応答コメントを前記記憶部に記憶し、

前記第 1 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された応答コメントを送信する、

処理を実行することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

【請求項 6】

コンピュータに、

利用者記憶部にグループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶させ、

前記メンバーの識別情報に対応する第 1 の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第 1 の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第 1 の情報処理装置から前記第 1 の入力画面に入力された前記コメントまたは / および前記指標値を受信し、

前記メンバーの識別情報に対応付けて、受信した前記コメントまたは / および前記指標値を記憶部に記憶し、

前記支援者の識別情報に対応する第 2 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対

10

20

30

40

50

応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の要否を示す情報を入力する第2の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

前記第2の情報処理装置から前記第2の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第3の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信し、

前記グループに属する他のメンバーの識別情報に対応する第5の情報処理装置に、前記メンバーへのメッセージを入力する第3の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第5の情報処理装置から前記第3の入力画面に入力された前記メッセージを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、前記他のメンバーの識別情報と、受信した前記メッセージとを、前記記憶部に記憶し、

前記第1の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する、

処理を実行させることを特徴とする精神疾患予防支援プログラム。

#### 【請求項7】

グループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶する利用者記憶部と、

前記メンバーの識別情報に対応する第1の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第1の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第1の情報処理装置から前記第1の入力画面に入力された前記コメントまたは/および前記指標値を受信し、

受信した前記コメントまたは/および前記指標値を前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶部に記憶し、

前記支援者の識別情報に対応する第2の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の要否を示す情報を入力する第2の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

前記第2の情報処理装置から前記第2の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第3の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信し、

前記グループに属する他のメンバーの識別情報に対応する第5の情報処理装置に、前記メンバーへのメッセージを入力する第3の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第5の情報処理装置から前記第3の入力画面に入力された前記メッセージを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、前記他のメンバーの識別情報と、受信した前記メッセージとを、前記記憶部に記憶し、

前記第1の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する制御部と、

を有することを特徴とする精神疾患予防支援装置。

#### 【発明の詳細な説明】

#### 【技術分野】

#### 【0001】

本発明は、精神疾患予防支援方法、精神疾患予防支援プログラム、および精神疾患予防支援装置に関する。

#### 【背景技術】

#### 【0002】

従来、労働者の精神疾患による企業活動や社会活動への悪影響を防止するために、労働者の精神疾患を予防するための様々な取り組みが行われている。例えば、医療従事者による労働者の相談対応、プロジェクト管理者へのメンタルヘルス教育、または労働者のストレスチェックなどが行われている。関連する技術としては、例えば、指導対象者が摂取し

10

20

30

40

50

た食事の食事情報を受信し、指導対象者から受信した食事情報を指導対応者へ提示する。指導対応者は指導対象者の日々の食生活を観察し、食生活改善に対する指導を行う仕組みを提供するものがある。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2011-191924号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

10

しかしながら、従来技術では、労働者の精神疾患の予兆を発見できず、労働者の精神疾患を予防することができない場合がある。例えば、労働者の人数が膨大になると、労働者の相談対応のための時間が不足して、労働者の精神疾患の予兆を発見することが困難になる。

【0005】

1つの側面では、本発明は、精神疾患の予防を支援することができる精神疾患予防支援方法、精神疾患予防支援プログラム、および精神疾患予防支援装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

20

本発明の一側面によれば、利用者記憶部にグループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶させ、前記メンバーの識別情報に対応する第1の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第1の入力画面を表す画面情報を送信し、前記第1の情報処理装置から前記第1の入力画面に入力された前記コメントまたは／および前記指標値を受信し、前記メンバーの識別情報に対応付けて、受信した前記コメントまたは／および前記指標値を記憶部に記憶し、前記支援者の識別情報に対応する第2の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の可否を示す情報を入力する第2の入力画面を表す画面情報と、を送信し、前記第2の情報処理装置から前記第2の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第3の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信する精神疾患予防支援方法、および精神疾患予防支援プログラムが提案される。

30

【0007】

また、本発明の一側面によれば、グループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶する利用者記憶部と、前記メンバーの識別情報に対応する第1の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第1の入力画面を表す画面情報を送信し、前記第1の情報処理装置から前記第1の入力画面に入力された前記コメントまたは／および前記指標値を受信し、受信した前記コメントまたは／および前記指標値を前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶部に記憶し、前記支援者の識別情報に対応する第2の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の可否を示す情報を入力する第2の入力画面を表す画面情報と、を送信し、前記第2の情報処理装置から前記第2の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第3の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信する制御部と、を有する精神疾患予防支援装置が提案される。

40

【発明の効果】

50

## 【 0 0 0 8 】

本発明の一態様によれば、精神疾患の予防を支援することができるという効果を奏する。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 0 9 】

【 図 1 】 図 1 は、精神疾患予防支援システム 1 0 0 の一実施例を示す説明図である。

【 図 2 】 図 2 は、図 1 に示した精神疾患予防支援システム 1 0 0 のシステム構成の一例を示す説明図である。

【 図 3 】 図 3 は、制御装置 1 1 0 になるコンピュータのハードウェア構成例を示すブロック図である。

10

【 図 4 】 図 4 は、ログオンテーブル 4 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 5 】 図 5 は、ニコニコマークテーブル 5 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 6 】 図 6 は、つぶやきテーブル 6 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 7 】 図 7 は、サンクストークンテーブル 7 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 8 】 図 8 は、メンバーリストテーブル 8 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。  
【 図 9 】 図 9 は、プロジェクト管理者ログオンテーブル 9 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 1 0 】 図 1 0 は、プロジェクト管理者リストテーブル 1 0 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

20

【 図 1 1 】 図 1 1 は、支援者ログオンテーブル 1 1 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 1 2 】 図 1 2 は、集計テーブル 1 2 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 1 3 】 図 1 3 は、医療従事者ログオンテーブル 1 3 0 0 の記憶内容の一例を示す説明図である。

【 図 1 4 】 図 1 4 は、精神疾患予防支援装置の機能的構成例を示すブロック図である。

【 図 1 5 】 図 1 5 は、メンバーの登録の一例を示す説明図である。

【 図 1 6 】 図 1 6 は、メンバーのログオンの一例を示す説明図である。

【 図 1 7 】 図 1 7 は、メンバーの操作の一例を示す説明図である。

【 図 1 8 】 図 1 8 は、メンバーの指標値とコメントとの入力の一例を示す説明図である。

30

【 図 1 9 】 図 1 9 は、メンバーのサンクストークンの送信の一例を示す説明図である。

【 図 2 0 】 図 2 0 は、メンバーのサンクストークンの閲覧の一例を示す説明図である。

【 図 2 1 】 図 2 1 は、メンバーの一言アドバイスの閲覧の一例を示す説明図である。

【 図 2 2 】 図 2 2 は、プロジェクト管理者のログオンの一例を示す説明図である。

【 図 2 3 】 図 2 3 は、プロジェクト管理者の操作の一例を示す説明図である。

【 図 2 4 】 図 2 4 は、支援者の操作の一例を示す説明図である。

【 図 2 5 】 図 2 5 は、支援者の一言アドバイスの入力の一例を示す説明図である。

【 図 2 6 】 図 2 6 は、医療従事者の操作の一例を示す説明図である。

【 図 2 7 】 図 2 7 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 1 ）である。

40

【 図 2 8 】 図 2 8 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 2 ）である。

【 図 2 9 】 図 2 9 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 3 ）である。

【 図 3 0 】 図 3 0 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 4 ）である。

【 図 3 1 】 図 3 1 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 5 ）である。

【 図 3 2 】 図 3 2 は、メンバーからのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 6 ）である。

50

【図 3 3】図 3 3 は、制御装置 1 1 0 の集計処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 3 4】図 3 4 は、支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 1）である。

【図 3 5】図 3 5 は、支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 2）である。

【図 3 6】図 3 6 は、支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャート（その 3）である。

【図 3 7】図 3 7 は、医療従事者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。

10

【図 3 8】図 3 8 は、プロジェクト管理者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0 0 1 0】

以下に添付図面を参照して、本発明にかかる精神疾患予防支援方法、精神疾患予防支援プログラム、および精神疾患予防支援装置の実施の形態を詳細に説明する。

【0 0 1 1】

（精神疾患予防支援システム 1 0 0 の一実施例）

図 1 は、精神疾患予防支援システム 1 0 0 の一実施例を示す説明図である。

【0 0 1 2】

20

精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、制御装置 1 1 0 と、メンバー用装置 1 1 1 と、支援者用装置 1 1 2 と、医療従事者用装置 1 1 3 と、を有するシステムである。

【0 0 1 3】

制御装置 1 1 0 は、精神疾患予防支援システム 1 0 0 を制御するコンピュータである。制御装置 1 1 0 としては、例えば、サーバ、および PC ( Personal Computer ) などが採用される。

【0 0 1 4】

メンバー用装置 1 1 1 は、プロジェクトのグループに属するメンバーが使用するコンピュータである。メンバー用装置 1 1 1 としては、例えば、携帯端末、PHS ( Personal Handyphone System )、PDA ( Personal Digital Assistants )、タブレット端末、スマートフォン、ノート PC、および PC などが採用される。

30

【0 0 1 5】

支援者用装置 1 1 2 は、プロジェクトのグループに属さない、プロジェクトのグループのメンバーを支援する支援者が使用するコンピュータである。支援者用装置 1 1 2 としては、例えば、携帯端末、PHS、PDA、タブレット端末、スマートフォン、ノート PC、および PC などが採用される。

【0 0 1 6】

医療従事者用装置 1 1 3 は、医療従事者が使用するコンピュータである。医療従事者用装置 1 1 3 としては、例えば、携帯端末、PHS、PDA、タブレット端末、スマートフォン、ノート PC、および PC などが採用される。

40

【0 0 1 7】

図 1 の例では、（ 1 ）制御装置 1 1 0 は、メンバー用装置 1 1 1 に、メンバーのコメントと精神状態の指標値とを入力する第 1 の入力画面の画面情報を送信する。

【0 0 1 8】

（ 2 ）メンバー用装置 1 1 1 は、第 1 の入力画面の画面情報を受信し、受信した第 1 の入力画面の画面情報に基づいて、第 1 の入力画面を表示する。次に、メンバー用装置 1 1 1 は、メンバーが第 1 の入力画面に入力した精神状態の指標値とコメントとを受け付ける。そして、メンバー用装置 1 1 1 は、制御装置 1 1 0 に、受け付けた精神状態の指標値とコメントとを送信する。

50

## 【 0 0 1 9 】

( 3 ) 制御装置 1 1 0 は、精神状態の指標値とコメントとを受信した場合、メンバーの識別情報に対応付けて、受信した指標値と、受信したコメントと、を制御装置 1 1 0 が有する記憶装置に記憶する。そして、制御装置 1 1 0 は、支援者用装置 1 1 2 に、メンバーの識別情報とメンバーの識別情報に対応付けて記憶装置に記憶されたコメントとを含み、医療従事者への通報の要否を入力する第 2 の入力画面の画面情報を送信する。

## 【 0 0 2 0 】

( 4 ) 支援者用装置 1 1 2 は、第 2 の入力画面の画面情報を受信し、受信した第 2 の入力画面の画面情報に基づいて、第 2 の入力画面を表示する。次に、支援者用装置 1 1 2 は、支援者が第 2 の入力画面に入力した医療従事者への通報の要否を示す情報を受け付ける。そして、支援者用装置 1 1 2 は、受け付けた情報が医療従事者への通報が必要であることを示す情報である場合、制御装置 1 1 0 に、受け付けた情報を送信する。

10

## 【 0 0 2 1 】

( 5 ) 制御装置 1 1 0 は、医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信した場合、医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けて記憶装置に記憶された指標値とを送信する。上述した ( 1 ) ~ ( 5 ) の一連の動作は、一定の間隔で行われる。( 1 ) ~ ( 5 ) の動作は、例えば、勤務日ごとに行われる。

## 【 0 0 2 2 】

このように、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、グループに属するメンバーが入力したコメントを、グループに属さない支援者に送信することにより、メンバーの精神疾患の予兆を発見する機会を支援者にまで広げることができる。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーが入力したコメントを、グループに属する他のメンバーには閲覧させず、グループに属さない支援者に閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなくコメントを入力することができる環境を提供することができる。また、これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、指標値を医療従事者に提供して、医療従事者にグループの状態を把握させることができ、医療従事者が精神疾患の対策をすることを支援することができる。

20

## 【 0 0 2 3 】

また、( 6 ) 精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーが入力した指標値の統計情報を算出してもよい。そして、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置 1 1 4 に、算出した統計情報を送信してもよい。

30

## 【 0 0 2 4 】

これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、プロジェクト管理者にグループの状態を把握させて、プロジェクト管理者にグループの状態改善を促すことができる。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、グループに属するプロジェクト管理者には、メンバー個人の指標値そのものを閲覧させることなく、指標値に基づく統計情報にしてから閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなく、指標値を入力することができる環境を提供することができる。

40

## 【 0 0 2 5 】

また、第 2 の入力画面は、さらに、医療従事者への通報が必要であると判断したメンバーに対する、支援者の所見を入力することができる画面であってもよい。この場合、支援者用装置 1 1 2 は、支援者が第 2 の入力画面に入力した、医療従事者への通報の要否を示す情報と、メンバーに対する支援者の所見とを受け付ける。そして、支援者用装置 1 1 2 は、受け付けた情報が医療従事者への通報が必要であることを示す情報である場合、制御装置 1 1 0 に、受け付けた情報と、メンバーに対する支援者の所見とを送信する。これに

50

より、精神疾患予防支援システム１００は、メンバーに対する支援者の所見を医療従事者に提供して、医療従事者が精神疾患の対策をすることを支援することができる。

【００２６】

（精神疾患予防支援システム１００のシステム構成の一例）

図２は、図１に示した精神疾患予防支援システム１００のシステム構成の一例を示す説明図である。

【００２７】

図２において、ネットワーク２１０は、制御装置１１０と、メンバー用装置１１１と、支援者用装置１１２と、医療従事者用装置１１３と、プロジェクト管理者用装置１１４と、が通信可能な通信網である。ネットワーク２１０は、例えば、ＬＡＮ（Local Area Network）、ＷＡＮ（Wide Area Network）、インターネット、携帯電話網などにより実現される。

10

【００２８】

（コンピュータのハードウェア構成例）

図３は、制御装置１１０になるコンピュータのハードウェア構成例を示すブロック図である。

【００２９】

図３において、コンピュータは、プロセッサ３０１、記憶装置３０２、入力装置３０３、出力装置３０４、および通信装置３０５が、バス３０６に接続されている。

【００３０】

プロセッサ３０１は、コンピュータの全体の制御を司る。また、プロセッサ３０１は、記憶装置３０２に記憶されているＯＳ（Operating System）や本実施の形態の表示制御プログラムなどの各種プログラムを実行することで、記憶装置３０２内のデータを読み出したり、実行結果となるデータを記憶装置３０２に書き込んだりする。

20

【００３１】

記憶装置３０２は、ＲＯＭ（Read Only Memory）、ＲＡＭ（Random Access Memory）、フラッシュメモリ、磁気ディスクドライブなどで構成され、プロセッサ３０１のワークエリアになったり、各種プログラムや、各種プログラムの実行により得られたデータを含む各種データを記憶したりする。

【００３２】

入力装置３０３は、キーボード、マウス、タッチパネルなどユーザの操作により、各種データの入力を行うインターフェースである。出力装置３０４は、プロセッサ３０１の指示により、データを出力するインターフェースである。出力装置３０４には、ディスプレイやプリンタが挙げられる。通信装置３０５は、ネットワークを介して外部からデータを受信したり、外部にデータを送信したりするインターフェースである。

30

【００３３】

また、メンバー用装置１１１と、支援者用装置１１２と、医療従事者用装置１１３と、プロジェクト管理者用装置１１４とのハードウェア構成例は、図３のコンピュータのハードウェア構成例と同様であるため、説明を省略する。また、メンバー用装置１１１と、支援者用装置１１２と、医療従事者用装置１１３と、プロジェクト管理者用装置１１４とは、さらに、光ディスクドライブ、光ディスク、およびスキャナなどを有していてもよい。

40

【００３４】

（ログオンテーブル４００の記憶内容）

次に、図４を用いて、ログオンテーブル４００の記憶内容の一例について説明する。ログオンテーブル４００は、例えば、図３に示した記憶装置３０２の記憶領域によって実現される。

【００３５】

図４は、ログオンテーブル４００の記憶内容の一例を示す説明図である。図４に示すように、ログオンテーブル４００は、メンバーＩＤ項目に対応付けて、パスワード項目と、機器ＩＤ項目と、を有し、メンバーごとに各項目に情報が設定されることにより、レコー

50



ドを記憶する。

【 0 0 3 6 】

メンバーID項目には、メンバーに割り振られたメンバーIDが記憶される。メンバーIDは、例えば、メンバーの氏名であってもよい。パスワード項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーを認証するためのパスワードが記憶される。機器ID項目には、メンバーに対応する情報処理装置の識別情報が記憶される。情報処理装置の識別情報は、例えば、契約者固有IDであってもよい。

【 0 0 3 7 】

例えば、レコード401は、メンバーID「PjM001」と、パスワード「YmdTr」と、情報処理装置の識別情報「(登録なし)」と、を含むログイン情報を示す。

10

【 0 0 3 8 】

(ニコニコマークテーブル500の記憶内容)

次に、図5を用いて、ニコニコマークテーブル500の記憶内容の一例について説明する。ニコニコマークテーブル500は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【 0 0 3 9 】

図5は、ニコニコマークテーブル500の記憶内容の一例を示す説明図である。図5に示すように、ニコニコマークテーブル500は、メンバーID項目に対応付けて、日付項目と、ニコニコマーク項目と、を有し、メンバーが入力したニコニコマークに対応する指標値ごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

20

【 0 0 4 0 】

メンバーID項目には、メンバーに割り振られたメンバーIDが記憶される。日付項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーがニコニコマークを入力した日付が記憶される。ニコニコマーク項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが入力したニコニコマークに対応する指標値が記憶される。

【 0 0 4 1 】

例えば、レコード501は、メンバーID「PjM001」と、日付「2013/8/22」と、ニコニコマークに対応する指標値「6」と、を含むニコニコマーク情報を示す。図5の例では、指標値は、高い値になるほど、精神状態がよい状態であることを示す。

【 0 0 4 2 】

30

(つぶやきテーブル600の記憶内容)

次に、図6を用いて、つぶやきテーブル600の記憶内容の一例について説明する。つぶやきテーブル600は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【 0 0 4 3 】

図6は、つぶやきテーブル600の記憶内容の一例を示す説明図である。図6に示すように、つぶやきテーブル600は、メンバーID項目に対応付けて、フラグ項目と、日付項目と、つぶやき項目と、を有する。つぶやきテーブル600は、メンバーが入力したつぶやき、または支援者が入力した一言アドバイスごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

40

【 0 0 4 4 】

メンバーID項目には、メンバーに割り振られたメンバーIDが記憶される。フラグ項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが入力したつぶやきに関するレコードであるか、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが宛先になる一言アドバイスのレコードであるか、を示すフラグが記憶される。日付項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーがつぶやきを入力した日付、または支援者が一言アドバイスをを入力した日付が記憶される。つぶやき項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが入力したつぶやき、または支援者が入力した一言アドバイスが記憶される。

【 0 0 4 5 】

50

例えば、レコード601は、メンバーID「PjM001」と、フラグ「1」と、日付「2013/8/22」と、コメント「昼飯まなかった」と、を含むつぶやき情報を示す。

【0046】

(サンクストークンテーブル700の記憶内容)

次に、図7を用いて、サンクストークンテーブル700の記憶内容の一例について説明する。サンクストークンテーブル700は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【0047】

図7は、サンクストークンテーブル700の記憶内容の一例を示す説明図である。図7に示すように、サンクストークンテーブル700は、メンバーID項目に対応付けて、宛先メンバーID項目と、日付項目と、サンクストークン項目と、を有する。サンクストークンテーブル700は、メンバーが入力したサンクストークンごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

10

【0048】

メンバーID項目には、メンバーに割り振られたメンバーIDが記憶される。宛先メンバーID項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが入力したサンクストークンの宛先になるメンバーのメンバーIDが記憶される。日付項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーがサンクストークンを入力した日付が記憶される。サンクストークン項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーが入力した

20

【0049】

例えば、レコード701は、メンバーID「PjM001」と、宛先メンバーID「PjM002」と、日付「2013/8/22」と、サンクストークン「メールシステムの更新ありがとう」と、を含むサンクストークン情報を示す。

【0050】

(メンバーリストテーブル800の記憶内容)

次に、図8を用いて、メンバーリストテーブル800の記憶内容の一例について説明する。メンバーリストテーブル800は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

30

【0051】

図8は、メンバーリストテーブル800の記憶内容の一例を示す説明図である。図8に示すように、メンバーリストテーブル800は、プロジェクトID項目に対応付けて、メンバーID項目と、を有し、プロジェクトのグループごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0052】

プロジェクトID項目には、プロジェクトに割り振られたプロジェクトIDが記憶される。メンバーID項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーに割り振られたメンバーIDが記憶される。

【0053】

例えば、レコード801は、プロジェクトID「Pj1」と、メンバーID「PjM001」と、を含むメンバーリスト情報を示す。メンバーリストテーブル800は、さらに、氏名項目を有してもよい。氏名項目には、メンバーID項目のメンバーIDが示すメンバーの氏名が記憶される。

40

【0054】

(プロジェクト管理者ログオンテーブル900の記憶内容)

次に、図9を用いて、プロジェクト管理者ログオンテーブル900の記憶内容の一例について説明する。プロジェクト管理者ログオンテーブル900は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【0055】

50

図9は、プロジェクト管理者ログオンテーブル900の記憶内容の一例を示す説明図である。図9に示すように、プロジェクト管理者ログオンテーブル900は、プロジェクト管理者ID項目に対応付けて、パスワード項目を有し、プロジェクト管理者ごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0056】

プロジェクト管理者ID項目には、プロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者に割り振られたプロジェクト管理者IDが記憶される。パスワード項目には、プロジェクト管理者ID項目のプロジェクト管理者IDが示すプロジェクト管理者を認証するためのパスワードが記憶される。

【0057】

例えば、レコード901は、プロジェクト管理者ID「PjL001」と、パスワード「SzKt」と、を含むプロジェクト管理者ログオン情報を示す。

【0058】

(プロジェクト管理者リストテーブル1000の記憶内容)

次に、図10を用いて、プロジェクト管理者リストテーブル1000の記憶内容の一例について説明する。プロジェクト管理者リストテーブル1000は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【0059】

図10は、プロジェクト管理者リストテーブル1000の記憶内容の一例を示す説明図である。図10に示すように、プロジェクト管理者リストテーブル1000は、プロジェクトID項目に対応付けて、プロジェクト管理者ID項目と、支援者ID項目と、を有し、プロジェクトのグループごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0060】

プロジェクトID項目には、プロジェクトに割り振られたプロジェクトIDが記憶される。プロジェクト管理者ID項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者に割り振られたプロジェクト管理者IDが記憶される。支援者ID項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者に割り振られた支援者IDが記憶される。

【0061】

例えば、レコード1001は、プロジェクト「Pj1」と、プロジェクト管理者ID「PjL001」と、支援者ID「PjS001」と、を含むプロジェクト管理者リスト情報を示す。プロジェクト管理者リストテーブル1000は、さらに、プロジェクト管理者氏名項目と、支援者氏名項目とを有してもよい。プロジェクト管理者氏名項目には、プロジェクト管理者ID項目のプロジェクト管理者IDが示すプロジェクト管理者の氏名が記憶される。支援者氏名項目には、支援者ID項目の支援者IDが示す支援者の氏名が記憶される。

【0062】

(支援者ログオンテーブル1100の記憶内容)

次に、図11を用いて、支援者ログオンテーブル1100の記憶内容の一例について説明する。支援者ログオンテーブル1100は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【0063】

図11は、支援者ログオンテーブル1100の記憶内容の一例を示す説明図である。図11に示すように、支援者ログオンテーブル1100は、支援者ID項目に対応付けて、パスワード項目を有し、支援者ごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0064】

支援者ID項目には、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者に割

10

20

30

40

50

り振られた支援者IDが記憶される。パスワード項目には、支援者ID項目の支援者IDが示す支援者を認証するためのパスワードが記憶される。

【0065】

例えば、レコード1101は、支援者ID「PjS001」と、パスワード「YsdNy」と、を含む支援者ログイン情報を示す。

【0066】

(集計テーブル1200の記憶内容)

次に、図12を用いて、集計テーブル1200の記憶内容の一例について説明する。集計テーブル1200は、例えば、図3に示した記憶装置302の記憶領域によって実現される。

【0067】

図12は、集計テーブル1200の記憶内容の一例を示す説明図である。図12に示すように、集計テーブル1200は、プロジェクトID項目に対応付けて、日付項目と、ニコニコ平均値項目と、ニコニコ参加率項目と、サンクス入力数項目と、サンクス参加率項目と、を有する。集計テーブル1200は、プロジェクトごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0068】

プロジェクトID項目には、プロジェクトのグループに割り振られたプロジェクトIDが記憶される。日付項目には、ニコニコマークに対応する指標値、およびサンクストークンを集計した日付が記憶される。ニコニコ平均値項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーが入力したニコニコマークに対応する指標値の平均値が記憶される。ニコニコ参加率項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーのうちのニコニコマークに対応する指標値を入力したメンバーの割合が記憶される。

【0069】

サンクス入力数項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーが入力したサンクストークンの数が記憶される。サンクス参加率項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーのうちのサンクストークンを入力したメンバーの割合が記憶される。

【0070】

例えば、レコード1201は、プロジェクトID「Pj1」と、日付「2013/8/22」と、ニコニコ平均値「5」と、ニコニコ参加率「70%」と、サンクス入力数「10」と、サンクス参加率「65%」と、を含む集計情報を示す。

【0071】

集計テーブル1200は、さらに、所見数項目と、所見受信日付項目とを有してもよい。所見項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーに対する支援者の所見を受信した数が記憶される。所見項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーについて支援者によって産業医への通報が必要であると判断された回数が記憶されてもよい。

【0072】

所見受信日付項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーに対する支援者の所見を受信した最新の日付が記憶される。所見受信日付項目には、プロジェクトID項目のプロジェクトIDが示すプロジェクトのグループに属するメンバーについて支援者によって産業医への通報が必要であると判断された最新の日付が記憶されてもよい。

【0073】

(医療従事者ログオンテーブル1300の記憶内容)

次に、図13を用いて、医療従事者ログオンテーブル1300の記憶内容の一例について説明する。医療従事者ログオンテーブル1300は、例えば、図3に示した記憶装置3

10

20

30

40

50

02の記憶領域によって実現される。

【0074】

図13は、医療従事者ログオンテーブル1300の記憶内容の一例を示す説明図である。図13に示すように、医療従事者ログオンテーブル1300は、医療従事者ID項目に対応付けて、パスワード項目を有し、医療従事者ごとに各項目に情報が設定されることにより、レコードを記憶する。

【0075】

医療従事者ID項目には、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する医療従事者に割り振られた医療従事者IDが記憶される。パスワード項目には、医療従事者ID項目の医療従事者IDが示す医療従事者を認証するためのパスワードが記憶される。

10

【0076】

例えば、レコード1301は、医療従事者ID「PjD001」と、パスワード「M d A k n r」と、を含む医療従事者ログオン情報を示す。

【0077】

(精神疾患予防支援装置の機能的構成例)

次に、図14を用いて、精神疾患予防支援装置の機能的構成例について説明する。精神疾患予防支援装置は、例えば、図1に示した制御装置110である。

【0078】

図14は、精神疾患予防支援装置の機能的構成例を示すブロック図である。精神疾患予防支援装置は、記憶部1401と、通信部1402と、制御部1403と、を含む。

20

【0079】

記憶部1401は、メンバーの識別情報に対応付けて、メンバーの認証情報を記憶する。ここで、メンバーの識別情報とは、メンバーに割り振られたメンバーIDである。メンバーの認証情報とは、メンバーに割り振られたパスワード、およびメンバーが使用する情報処理装置の機器IDである。記憶部1401は、例えば、ログオンテーブル400を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、メンバー用装置111からメンバーの認証情報を受信して、メンバーを認証することができる。

【0080】

記憶部1401は、メンバーの識別情報に対応付けて、コメントまたは/および指標値を記憶する。ここで、コメントとは、メンバーによって入力されたテキストデータである。指標値とは、メンバーの精神状態を表す値である。記憶部1401は、例えば、ニコニコマークテーブル500と、つぶやきテーブル600と、を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、メンバー用装置111から受信したメンバーの指標値、およびコメントを、支援者用装置112などに送信することができる。

30

【0081】

また、記憶部1401は、メンバーの識別情報に対応付けて、応答コメントを記憶部1401に記憶する。ここで、応答コメントとは、支援者によって入力されたメンバーに対する一言アドバイスである。記憶部1401は、例えば、つぶやきテーブル600を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、メンバーにメンバー用装置111によって応答コメントを閲覧させることができる。

40

【0082】

また、記憶部1401は、メンバーの識別情報に対応付けて、他のメンバーの識別情報と、メッセージとを、記憶する。ここで、メッセージとは、メンバーの間でやり取りされるメンバーによって入力されたテキストデータである。メッセージとは、例えば、サンクストークンである。記憶部1401は、例えば、サンクストークンテーブル700を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、メンバーにメンバー用装置111を用いて、他のメンバーからのサンクストークンの内容を閲覧させることができる。

【0083】

また、記憶部1401は、プロジェクトのグループの識別情報に対応付けて、プロジェ

50

クトのグループに属するメンバーの識別情報を記憶する。ここで、プロジェクトのグループの識別情報とは、プロジェクトに割り振られたプロジェクトIDである。記憶部1401は、例えば、メンバーリストテーブル800を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、プロジェクトのグループに属するメンバーを特定することができる。

【0084】

また、記憶部1401は、プロジェクト管理者の識別情報に対応付けて、プロジェクト管理者の認証情報を記憶する。ここで、プロジェクト管理者の識別情報とは、プロジェクト管理者IDである。プロジェクト管理者の認証情報とは、プロジェクト管理者に割り振られたパスワードである。記憶部1401は、例えば、プロジェクト管理者ログオンテーブル900を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、プロジェクト管理者用装置114からプロジェクト管理者の認証情報を受信して、プロジェクト管理者を認証することができる。

10

【0085】

また、記憶部1401は、プロジェクトのグループの識別情報に対応付けて、プロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者の識別情報と、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者の識別情報とを記憶する。ここで、支援者の識別情報とは、支援者に割り振られた支援者IDである。記憶部1401は、例えば、プロジェクト管理者リストテーブル1000を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、プロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者と、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者とを特定することができる。

20

【0086】

また、記憶部1401は、支援者の識別情報に対応付けて、支援者の認証情報を記憶する。ここで、支援者とは、職場づくり支援スタッフやその企業のOBなど、プロジェクトやメンバーの状況を推測でき、会話に反映できる能力を有し、かつ、プロジェクトのグループに属さない人材が好ましい。記憶部1401は、例えば、支援者ログオンテーブル1100を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、支援者用装置112から支援者の認証情報を受信して、支援者を認証することができる。

【0087】

また、記憶部1401は、メンバーのコメント、およびメンバーのサンクストークンに基づくグループの統計情報を記憶する。記憶部1401は、例えば、集計テーブル1200を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、プロジェクト管理者にプロジェクト管理者用装置114を用いて、グループの統計情報を閲覧させることができる。

30

【0088】

また、記憶部1401は、プロジェクトのグループの識別情報に対応付けて、プロジェクトに属するメンバーに対する支援者からの所見の数を記憶する。記憶部1401は、例えば、集計テーブル1200を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、医療従事者に医療従事者用装置113を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーに対する支援者の所見の数を閲覧させることができる。また、記憶部1401は、メンバーの識別情報に対応付けて、メンバーに対する支援者の所見を記憶する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、医療従事者に医療従事者用装置113を用いて、メンバーに対する支援者の所見を閲覧させることができる。

40

【0089】

また、記憶部1401は、医療従事者の識別情報に対応付けて、医療従事者の認証情報を記憶する。ここで、医療従事者とは、産業医・保健師・カウンセラーである。記憶部1401は、例えば、医療従事者ログオンテーブル1300を記憶する。記憶部1401は、例えば、図3に示した記憶装置302により、その機能を実現する。これにより、制御部1403は、記憶部1401に基づいて、医療従事者用装置113から医療従事者の認証情報を受信して、医療従事者を認証することができる。

50

## 【0090】

通信部1402は、メンバーが使用する第1の情報処理装置に対して、データの送受信を行う。ここで、第1の情報処理装置とは、例えば、図1に示したメンバー用装置111である。また、通信部1402は、支援者が使用する第2の情報処理装置に対して、データの送受信を行う。ここで、第2の情報処理装置とは、例えば、図1に示した支援者用装置112である。

## 【0091】

また、通信部1402は、医療従事者が使用する第3の情報処理装置に対して、データの送受信を行う。ここで、第3の情報処理装置とは、例えば、図1に示した医療従事者用装置113である。また、通信部1402は、プロジェクト管理者が使用する第4の情報処理装置に対して、データの送受信を行う。ここで、第4の情報処理装置とは、例えば、図1に示したプロジェクト管理者用装置114である。

10

## 【0092】

これにより、通信部1402は、外部のコンピュータとのデータのやり取りを行うことができる。通信部1402は、例えば、図3に示した通信装置305により、その機能を実現する。

## 【0093】

指標値、またはコメントを受信する処理

制御部1403は、通信部1402を制御して、グループに属するメンバーに対応するメンバー用装置111に、第1の入力画面を表す画面情報を送信する。ここで、第1の入力画面とは、メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する画面である。

20

## 【0094】

制御部1403は、例えば、メンバー用装置111からメンバーの認証情報を受信したことに応じて、受信した認証情報に基づいてメンバーの認証を行う。そして、制御部1403は、メンバーの認証に成功したことに応じて、メンバー用装置111に、第1の入力画面を表す画面情報を送信する。

## 【0095】

制御部1403は、具体的には、通信部1402を制御して、メンバーのログオン画面の画面情報をメンバー用装置111に送信する。次に、制御部1403は、通信部1402を制御して、メンバー用装置111から、ログオン画面に入力されたメンバーIDとパスワードとを受信する。そして、制御部1403は、受信したメンバーIDとパスワードとを対応付けたレコードがログオンテーブル400に記憶されているか否かを判定する。そして、制御部1403は、ログオンテーブル400に記憶されている場合に、メンバーの認証に成功したと判定して、通信部1402を制御して、第1の画面の画面情報をメンバー用装置111に送信する。

30

## 【0096】

制御部1403は、メンバー用装置111から第1の入力画面に入力されたコメントまたは/および指標値を受信したことに応じて、メンバーの識別情報に対応付けて、受信したコメントまたは/および指標値を記憶部1401に記憶する。

## 【0097】

制御部1403は、例えば、メンバー用装置111からコメントを受信したことに応じて、メンバーの認証において受信したメンバーIDと、受信したコメントとを対応付けて、つぶやきテーブル600に追加する。また、制御部1403は、例えば、メンバー用装置111から指標値を受信したことに応じて、メンバーの認証において受信したメンバーIDと、受信した指標値とを対応付けて、ニコニコマークテーブル500に追加する。これにより、制御部1403は、メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを受信して、記憶部1401に記憶することができる。

40

## 【0098】

サンクストークンを受信する処理

制御部1403は、グループに属する他のメンバーに対応する第5の情報処理装置に、

50

メンバーへのサンクストークンの内容を入力する第3の入力画面を表す画面情報を送信する。ここで、第5の情報処理装置とは、例えば、図1に示したメンバー用装置111である。

#### 【0099】

制御部1403は、他のメンバーが使用するメンバー用装置111から第3の入力画面に入力されたサンクストークンの内容を受信したことに応じて、メンバーの識別情報に対応付けて、他のメンバーの識別情報と、受信したサンクストークンの内容とを、記憶部1401に記憶する。制御部1403は、例えば、メンバーの識別情報に対応付けて、他のメンバーの識別情報と、受信したサンクストークンの内容とを、対応付けたレコードを、サンクストークンテーブル700に追加する。これにより、制御部1403は、サンクストークンを記憶部1401に記憶しておき、メンバーにメンバー用装置111を用いて閲覧させることができる。

10

#### 【0100】

##### サンクストークンを送信する処理

制御部1403は、メンバー用装置111に、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部1401に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンの内容とを送信する。制御部1403は、例えば、メンバー用装置111に、メンバーの識別情報に対応付けてサンクストークンテーブル700に記憶された、他のメンバーの識別情報と、受信したサンクストークンの内容とを、送信する。これにより、制御部1403は、メンバーにメンバー用装置111を用いて、他のメンバーからのサンクストークンの内容を閲覧させることができる。

20

#### 【0101】

##### 統計情報を算出する処理

制御部1403は、記憶部1401に記憶された指標値に基づくグループにおける指標値の統計情報を算出する。制御部1403は、例えば、複数のプロジェクトのうちのいずれかのプロジェクトのプロジェクトIDを選択する。次に、制御部1403は、メンバーリストテーブル800のうちで、選択したプロジェクトIDがプロジェクトID項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードのメンバーID項目に設定されたメンバーIDを抽出する。そして、制御部1403は、ニコニコマークテーブル500のうちで、抽出したメンバーIDがメンバーID項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードの指標値項目に設定された指標値を抽出する。次に、制御部1403は、抽出した指標値の平均値や指標値を入力したメンバーの割合を算出する。そして、制御部1403は、例えば、選択したプロジェクトIDと、算出した指標値の平均値と、メンバーの割合とを対応付けたレコードを、集計テーブル1200に追加する。

30

#### 【0102】

また、制御部1403は、記憶部1401に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンとに基づくグループにおけるサンクストークンの統計情報を算出する。制御部1403は、例えば、複数のプロジェクトのうちのいずれかのプロジェクトのプロジェクトIDを選択する。次に、制御部1403は、メンバーリストテーブル800のうちで、選択したプロジェクトIDがプロジェクトID項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードのメンバーID項目に設定されたメンバーIDを抽出する。そして、制御部1403は、サンクストークンテーブル700のうちで、抽出したメンバーIDがメンバーID項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御部1403は、特定したレコードのサンクストークン項目に設定されたサンクストークンを抽出して、サンクストークンの数やサンクストークンを入力したメンバーの割合を算出する。そして、制御部1403は、例えば、選択したプロジェクトIDと、算出したサンクストークンの数と、メンバーの割合とを対応付けたレコードを、集計テーブル1200に追加する。これにより、制御部1403は、メンバーの指標値やサンクストークンの内容そのものではない、グループの統計情報を作成することができる。

40

#### 【0103】

50



#### 統計情報を送信する処理

制御部 1403 は、グループを管理するプロジェクト管理者に対応するプロジェクト管理者用装置 114 に、記憶部 1401 に記憶された指標値に基づくグループにおける指標値の統計情報を送信する。また、制御部 1403 は、グループを管理するプロジェクト管理者に対応するプロジェクト管理者用装置 114 に、記憶部 1401 に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンとに基づくグループにおけるサンクストークンの統計情報を送信する。

#### 【0104】

制御部 1403 は、例えば、プロジェクト管理者用装置 114 からプロジェクト管理者の認証情報を受信したことに応じて、受信した認証情報に基づいてプロジェクト管理者の認証を行う。次に、制御部 1403 は、プロジェクト管理者の認証に成功したことに応じて、プロジェクト管理者用装置 114 に、記憶部 1401 に記憶された指標値に基づくグループにおける指標値の統計情報を送信する。また、制御部 1403 は、プロジェクト管理者用装置 114 に、記憶部 1401 に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンとに基づくグループにおけるサンクストークンの統計情報を送信する。

10

#### 【0105】

制御部 1403 は、具体的には、通信部 1402 を制御して、プロジェクト管理者のログオン画面の画面情報をプロジェクト管理者用装置 114 に送信する。次に、制御部 1403 は、通信部 1402 を制御して、プロジェクト管理者用装置 114 から、ログオン画面に入力されたプロジェクト管理者 ID とパスワードとを受信する。そして、制御部 1403 は、受信したプロジェクト管理者 ID とパスワードとを対応付けたレコードがプロジェクト管理者ログオンテーブル 900 に記憶されているか否かを判定する。

20

#### 【0106】

ここで、制御部 1403 は、プロジェクト管理者ログオンテーブル 900 に記憶されている場合に、プロジェクト管理者の認証に成功したと判定する。そして、制御部 1403 は、通信部 1402 を制御して、プロジェクト管理者の認証に成功したと判定すると、算出したニコニコマークテーブル 500 に記憶された指標値に基づくグループにおける指標値の統計情報をプロジェクト管理者用装置 114 に送信する。

#### 【0107】

また、制御部 1403 は、通信部 1402 を制御して、プロジェクト管理者用装置 114 に、算出したサンクストークンテーブル 700 に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンとに基づくグループにおけるサンクストークンの統計情報を送信する。これにより、制御部 1403 は、プロジェクト管理者にプロジェクト管理者用装置 114 を用いて、グループの統計情報を閲覧させることができる。

30

#### 【0108】

#### 通報の要否を受信する処理

制御部 1403 は、グループに属するメンバー以外であって、メンバーを支援する支援者に対応する支援者用装置 112 に、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1401 に記憶されたコメントと、第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信する。第 2 の入力画面とは、医療従事者への通報の要否を示す情報を入力する画面である。

40

#### 【0109】

制御部 1403 は、例えば、支援者用装置 112 から支援者の認証情報を受信したことに応じて、受信した認証情報に基づいて支援者の認証を行う。そして、制御部 1403 は、支援者の認証に成功したことに応じて、支援者用装置 112 に、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1401 に記憶されたコメントと、第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信する。

#### 【0110】

制御部 1403 は、具体的には、通信部 1402 を制御して、支援者のログオン画面の画面情報を支援者用装置 112 に送信する。次に、制御部 1403 は、通信部 1402 を制御して、支援者用装置 112 から、ログオン画面に入力された支援者 ID とパスワード

50

とを受信する。次に、制御部 1 4 0 3 は、受信した支援者 ID とパスワードとを対応付けたレコードが支援者ログオンテーブル 1 1 0 0 に記憶されているか否かを判定する。そして、制御部 1 4 0 3 は、支援者ログオンテーブル 1 1 0 0 に記憶されている場合に、支援者の認証に成功したと判定して、通信部 1 4 0 2 を制御して、第 2 の入力画面の画面情報を支援者用装置 1 1 2 に送信する。

【 0 1 1 1 】

また、第 2 の入力画面は、さらに、メンバーのコメントに対する応答コメントを入力することができる画面であってもよい。この場合、制御部 1 4 0 3 は、支援者用装置 1 1 2 から第 2 の入力画面に入力された応答コメントを受信したことに応じて、メンバーの識別情報に対応付けて、受信した応答コメントを記憶部 1 4 0 1 に記憶する。そして、制御部 1 4 0 3 は、メンバー用装置 1 1 1 に、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された応答コメントを送信する。

10

【 0 1 1 2 】

これにより、制御部 1 4 0 3 は、支援者用装置 1 1 2 にコメントの内容を送信して、支援者に医療従事者への通報が必要か否かを判断させることができる。また、制御部 1 4 0 3 は、メンバー用装置 1 1 1 に応答コメントの内容を送信して、メンバーと支援者との交流を活性化することができる。

【 0 1 1 3 】

また、第 2 の入力画面は、さらに、医療従事者への通報が必要であると判断したメンバーに対する、支援者の所見を入力することができる画面であってもよい。この場合、制御部 1 4 0 3 は、支援者用装置 1 1 2 から第 2 の入力画面に入力された所見を受信したことに応じて、メンバーの識別情報に対応付けて、受信した所見の内容を記憶部 1 4 0 1 に記憶する。また、制御部 1 4 0 3 は、プロジェクトのグループの識別情報に対応付けて、プロジェクトに属するメンバーに対する支援者からの所見の数を記憶する。

20

【 0 1 1 4 】

医療従事者に通報する処理

制御部 1 4 0 3 は、通信部 1 4 0 2 を制御して、支援者用装置 1 1 2 から第 2 の入力画面に入力された医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信する。そして、制御部 1 4 0 3 は、通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、通信部 1 4 0 2 を制御して、医療従事者に対応する医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された指標値と、を送信する。

30

【 0 1 1 5 】

また、制御部 1 4 0 3 は、通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンの内容とを抽出する。そして、制御部 1 4 0 3 は、通信部 1 4 0 2 を制御して、医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された他のメンバーの識別情報とサンクストークンの内容とを送信する。

【 0 1 1 6 】

40

制御部 1 4 0 3 は、例えば、医療従事者用装置 1 1 3 から医療従事者の認証情報を受信したことに応じて、受信した認証情報に基づいて医療従事者の認証を行う。次に、制御部 1 4 0 3 は、医療従事者の認証に成功したことに応じて、医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された指標値と、を送信する。また、制御部 1 4 0 3 は、医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部 1 4 0 1 に記憶された指標値と他のメンバーの識別情報とサンクストークンの内容とを送信する。

【 0 1 1 7 】

制御部 1 4 0 3 は、具体的には、通信部 1 4 0 2 を制御して、医療従事者のログオン画面の画面情報を医療従事者用装置 1 1 3 に送信する。次に、制御部 1 4 0 3 は、通信部 1

50

402を制御して、医療従事者用装置113から、ログオン画面に入力された医療従事者IDとパスワードとを受信する。次に、制御部1403は、受信した医療従事者IDとパスワードとを対応付けたレコードが医療従事者ログオンテーブル1300に記憶されているか否かを判定する。

#### 【0118】

ここで、制御部1403は、医療従事者ログオンテーブル1300に記憶されている場合に、医療従事者の認証に成功したと判定する。そして、制御部1403は、通信部1402を制御して、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けてニコニコマークテーブル500に記憶された指標値と、を医療従事者用装置113に送信する。また、制御部1403は、通信部1402を制御して、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けてつぶやきテーブル600に記憶されたコメントの内容、および応答コメントの内容と、を医療従事者用装置113に送信する。また、制御部1403は、メンバーの識別情報と、メンバーの識別情報に対応付けてサンクストークンテーブル700に記憶されたサンクストークンの内容と、を医療従事者用装置113に送信する。

10

#### 【0119】

これにより、制御部1403は、支援者用装置112から医療従事者への通報が必要なメンバーのメンバーIDを受信することができ、医療従事者用装置113にメンバーIDを送信して医療従事者にメンバーIDが示すメンバーの対策をさせることができる。また、制御部1403は、医療従事者用装置113にメンバーIDに対応付けて記憶部1401に記憶された情報を送信して、医療従事者にメンバーIDが示すメンバーの詳細な対策をさせることができる。

20

#### 【0120】

また、制御部1403は、さらに、医療従事者への通報が必要であると判断したメンバーに対する、支援者の所見を受信してもよい。そして、制御部1403は、医療従事者用装置113に、メンバーの識別情報に対応付けて記憶部1401に記憶された所見の内容、およびグループの識別情報に対応付けて記憶部1401に記憶された所見の数を送信する。これにより、制御部1403は、医療従事者装置113に所見の内容および所見の数を送信して、医療従事者がメンバーの精神状態を把握したり、グループがメンバーに精神疾患を発生させやすい環境になっているか否かを判断したりすることを支援することができる。制御部1403は、例えば、図3に示した記憶装置302に記憶されたプログラムをプロセッサ301に実行させることにより、その機能を実現する。

30

#### 【0121】

(精神疾患予防支援)

次に、図15～図26を用いて、精神疾患予防支援システム100の精神疾患予防支援の一例について説明する。

#### 【0122】

メンバーの登録

まず、図15を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーの登録の一例について説明する。

#### 【0123】

図15は、メンバーの登録の一例を示す説明図である。図15の例では、制御装置110は、出力装置304を用いて、登録画面1500を表示する。登録画面1500は、プロジェクトの名称を入力する入力欄1501を有する。

40

#### 【0124】

また、登録画面1500は、プロジェクトを管理するプロジェクト管理者の氏名を入力する入力欄1502と、プロジェクトを管理するプロジェクト管理者のメールアドレスを入力する入力欄1503と、を有する。また、登録画面1500は、プロジェクト管理者の氏名を入力する入力欄1502と、プロジェクト管理者のメールアドレスを入力する入力欄1503と、の入力内容を確定する確定ボタン1504を有する。

#### 【0125】

50

また、登録画面 1500 は、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者の氏名を入力する入力欄 1505 と、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者のメールアドレスを入力する入力欄 1506 と、を有する。また、登録画面 1500 は、支援者の氏名を入力する入力欄 1505 と、支援者のメールアドレスを入力する入力欄 1506 と、の入力内容を確定する確定ボタン 1507 を有する。

【0126】

また、登録画面 1500 は、プロジェクトのグループに属するメンバーの氏名を入力する入力欄 1508 と、プロジェクトのグループに属するメンバーのメールアドレスを入力する入力欄 1509 と、を有する。また、登録画面 1500 は、メンバーの氏名を入力する入力欄 1508 と、メンバーのメールアドレスを入力する入力欄 1509 と、の入力内容を確定する確定ボタン 1510 を有する。

10

【0127】

また、登録画面 1500 は、確定した入力内容を表示する表示欄 1511 と、確定した入力内容を記憶装置に登録する登録終了ボタン 1512 と、を有する。

【0128】

制御装置 110 は、例えば、入力装置 303 を用いて、入力欄 1501 にプロジェクトの名称「Pj1」を入力する。

【0129】

また、制御装置 110 の利用者は、例えば、入力装置 303 を用いて、入力欄 1502 にプロジェクト管理者の氏名「鈴木達夫」を入力するとともに、入力欄 1503 にプロジェクト管理者のメールアドレス「suzuki@mail.jp」を入力して、確定ボタン 1504 を押下する。制御装置 110 は、確定ボタン 1504 が押下されたことを検出すると、表示欄 1511 に、入力欄 1502 の入力内容と、入力欄 1503 の入力内容と、を表示する。

20

【0130】

また、制御装置 110 の利用者は、例えば、入力装置 303 を用いて、入力欄 1505 に支援者の氏名「吉田直哉」を入力するとともに、入力欄 1506 に支援者のメールアドレス「yoshida@mail.jp」を入力して、確定ボタン 1507 を押下する。制御装置 110 は、確定ボタン 1507 が押下されたことを検出すると、表示欄 1511 に、入力欄 1505 の入力内容と、入力欄 1506 の入力内容と、を表示する。

30

【0131】

また、制御装置 110 の利用者は、例えば、入力装置 303 を用いて、入力欄 1508 にメンバーの氏名「山田太郎」を入力するとともに、入力欄 1509 にメンバーのメールアドレス「yamada@mail.jp」を入力して、確定ボタン 1510 を押下する。制御装置 110 は、確定ボタン 1510 が押下されたことを検出すると、表示欄 1511 に、入力欄 1508 の入力内容と、入力欄 1509 の入力内容と、を表示する。

【0132】

そして、制御装置 110 の利用者は、例えば、登録終了ボタン 1512 を押下する。制御装置 110 は、例えば、登録終了ボタン 1512 が押下されたことを検出すると、プロジェクトの名称「Pj1」に対応するプロジェクトID「Pj1」を自動で生成する。

40

【0133】

また、制御装置 110 は、例えば、メンバーの氏名「山田太郎」に対応する、メンバーID「PjM001」と、パスワード「YmdTr」とを自動で生成する。また、制御装置 110 は、例えば、プロジェクト管理者の氏名「鈴木達夫」に対応する、プロジェクト管理者ID「PjL001」と、パスワード「SzkTt」とを自動で生成する。また、制御装置 110 は、例えば、支援者の氏名「吉田直哉」に対応する、支援者ID「PjS001」と、パスワード「YsdNy」とを自動で生成する。

【0134】

次に、制御装置 110 は、生成したメンバーID「PjM001」と、パスワード「YmdTr」とを対応付けたレコードをログオンテーブル 400 に追加して、ログオンテ

50

ブル400を更新する。また、制御装置110は、生成したプロジェクトID「Pj1」と、メンバーID「PjM001」とを対応付けたレコードをメンバーリストテーブル800に追加して、メンバーリストテーブル800を更新する。

【0135】

また、制御装置110は、生成したプロジェクト管理者ID「PjL001」と、パスワード「SzkTt」とを対応付けたレコードをプロジェクト管理者ログオンテーブル900に追加して、プロジェクト管理者ログオンテーブル900を更新する。また、制御装置110は、生成した支援者ID「PjS001」と、パスワード「YsdNy」とを対応付けたレコードを支援者ログオンテーブル1100に追加して、支援者ログオンテーブル1100を更新する。また、制御装置110は、生成したプロジェクトID「Pj1」と、プロジェクト管理者ID「PjL001」と、支援者ID「PjS001」とを対応付けたレコードをプロジェクト管理者リストテーブル1000に追加して、プロジェクト管理者リストテーブル1000を更新する。

10

【0136】

そして、制御装置110は、メンバーID「PjM001」と、パスワード「YmdTr」と、メンバーのログオン画面のアドレスとを、メンバーのメールアドレス「yama da@mail.jp」に送信する。また、制御装置110は、プロジェクト管理者ID「PjL001」と、パスワード「SzkTt」と、プロジェクト管理者のログオン画面のアドレスとを、プロジェクト管理者のメールアドレス「suzuki@mail.jp」に送信する。また、制御装置110は、支援者ID「PjS001」と、パスワード「YsdNy」と、支援者のログオン画面のアドレスとを、支援者のメールアドレス「yoshida@mail.jp」に送信する。

20

【0137】

メンバーのログオン

次に、図16を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーのログオンの一例について説明する。

【0138】

図16は、メンバーのログオンの一例を示す説明図である。図16の例では、制御装置110は、メンバーが使用するメンバー用装置111がメンバーのログオン画面1600のアドレスにアクセスしたことに応じて、メンバー用装置111にメンバーのログオン画面1600の画面情報を送信する。

30

【0139】

メンバー用装置111は、出力装置304を用いて、メンバーのログオン画面1600を表示する。メンバーのログオン画面1600は、メンバーIDを入力する入力欄1601と、メンバーの認証のためのパスワードを入力する入力欄1602と、メンバーの認証を行うログオンボタン1603と、機器IDを登録するか否かを選択する選択欄1604とを有する。

【0140】

メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、入力欄1601にメンバーID「PjM001」を入力し、入力欄1602にパスワード「YmdTr」を入力し、選択欄1604によって機器IDを登録することを選択する。次に、メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、ログオンボタン1603を押下する。メンバー用装置111は、ログオンボタン1603が押下されたことを検出すると、メンバーID「PjM001」とパスワード「YmdTr」と、選択結果とを、制御装置110に送信する。

40

【0141】

制御装置110は、メンバーID「PjM001」とパスワード「YmdTr」とを受信すると、メンバーID「PjM001」とパスワード「YmdTr」とを対応付けたレコードがログオンテーブル400に記憶されているか否かを判定する。

【0142】

50

制御装置 110 は、ログオンテーブル 400 に記憶されていると判定した場合、ログオンに成功したと判定して、メンバー用装置 111 に、メンバーが操作する初期画面の画面情報を送信する。

【0143】

また、制御装置 110 は、機器 ID を登録することが選択されているため、メンバー用装置 111 の機器 ID を、ログオンテーブル 400 に記憶されたメンバー ID 「PjM001」とパスワード「YmdTr」とを対応付けたレコードの機器 ID 項目に設定する。

【0144】

制御装置 110 は、次回以降のログオンでは、メンバー用装置 111 がメンバーのログオン画面 1600 のアドレスにアクセスしたことに応じて、メンバー用装置 111 の機器 ID が設定されたレコードがログオンテーブル 400 に記憶されているか否かを判定する。そして、制御装置 110 は、ログオンテーブル 400 に記憶されていると判定した場合、ログオンに成功したと判定して、メンバー用装置 111 に、メンバーが操作する初期画面の画面情報を送信する。これにより、メンバー用装置 111 を使用するメンバーは、次回以降のログオンにおいて、メンバー ID とパスワードとを入力せずに、ログオンすることができる。

10

【0145】

一方で、制御装置 110 は、ログオンテーブル 400 に記憶されていないと判定した場合、ログオンに失敗したとして、ログオンに失敗したことを示す情報をメンバー用装置 111 に送信する。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、メンバー以外の者が、メンバー用装置 111 を使用して、メンバーの指標値を入力したり、メンバーのコメント、およびサクストークンの内容を閲覧したりすることを防止することができる。

20

【0146】

このように、メンバーは、例えば、勤務日ごとにログオンを行い、ログオン画面 1600 を操作し、後述する初期画面 1700 などを操作して精神状態を表す指標値を入力したり、サクストークンを送信したりする。

【0147】

メンバーの操作

次に、図 17 を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーの操作の一例について説明する。

30

【0148】

図 17 は、メンバーの操作の一例を示す説明図である。図 17 の例では、メンバー用装置 111 は、初期画面 1700 の画面情報を受信したことに応じて、出力装置 304 を用いて、初期画面 1700 を表示する。

【0149】

初期画面 1700 は、メンバーの精神状態を表す指標値とコメントとを入力するショート日記画面の画面情報を制御装置 110 から取得するためのショート日記ボタン 1701 を有する。また、初期画面 1700 は、サクストークンを入力するサクストークン送信画面の画面情報を制御装置 110 から取得するためのサクストークン送信ボタン 1702 を有する。

40

【0150】

また、初期画面 1700 は、他のメンバーからのサクストークンを閲覧するサクストークン受信画面の画面情報を制御装置 110 から取得するためのサクストークン受信ボタン 1703 を有する。また、初期画面 1700 は、支援者からの一言アドバイスを閲覧する一言アドバイス画面の画面情報を制御装置 110 から取得するための一言アドバイスボタン 1704 を有する。

【0151】

メンバーの指標値とコメントとの入力

次に、図 18 を用いて、図 17 においてショート日記ボタン 1701 が押下された場合の、プロジェクトのグループに属するメンバーの指標値とコメントとの入力の一例につい

50

て説明する。

【0152】

図18は、メンバーの指標値とコメントとの入力の一例を示す説明図である。図18の例では、メンバー用装置111が、ショート日記ボタン1701が押下されたことを検出して、ショート日記画面1800の画面情報の送信要求を制御装置110に送信する。

【0153】

この場合は、制御装置110は、ショート日記画面1800の画面情報の送信要求を受信すると、メンバーの指標値とコメントとを入力するショート日記画面1800の画面情報をメンバー用装置111に送信する。

【0154】

そして、メンバー用装置111は、ショート日記画面1800の画面情報を制御装置110から受信したことに応じて、出力装置304を用いて、ショート日記画面1800を表示する。

【0155】

ショート日記画面1800は、日付を入力する入力欄1801と、天気を入力する入力欄1802とを有する。また、ショート日記画面1800は、メンバーの精神状態を表す指標値を入力する入力欄1803を有する。また、ショート日記画面1800は、出勤時間と退勤時間と勤務時間と遅刻の有無と身体状況とを入力する入力欄1804を有する。

【0156】

また、ショート日記画面1800は、メンバーの状況についてのアンケートの回答欄1805を有する。また、ショート日記画面1800は、メンバーのコメントを入力する入力欄1806を有する。また、ショート日記画面1800は、入力内容を制御装置110に送信する更新ボタン1807を有する。

【0157】

メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、入力欄1801に日付「2013/8/22」を入力し、入力欄1802に天気を入力する。メンバー用装置111は、メンバー用装置111が有する時計が示す日付、またはネットワークから取得した日付を入力欄1801に自動で入力しておいてもよい。また、天気の入力は、引きこもりなどの天気に疎くなりがちなメンバーへの対策として入力させ、あえて天気を意識させるために設けている。これにより、メンバーが外気や日光に当たることを期待しており、うつ病予防の一つとして重要だと指摘されている、一日30分以上、外気や日光に当たることにつなげる事を考慮している。

【0158】

また、メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、入力欄1803にメンバーの精神状態を表す指標値を入力する。メンバー用装置111を使用するメンバーは、例えば、入力装置303を用いて、複数のニコニコマークのうちでメンバーの精神状態に近いものを選択することによって、ニコニコマークに対応する精神状態を表す指標値を入力する。

【0159】

また、メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、入力欄1804に出勤時間と退勤時間と勤務時間と遅刻の有無と身体状況とを入力する。また、メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力装置303を用いて、回答欄1805にアンケートの回答を入力する。

【0160】

また、メンバー用装置111を使用するメンバーは、入力欄1806にメンバーのコメントを入力する。そして、メンバー用装置111を使用するメンバーは、更新ボタン1807を押下する。ここで、メンバー用装置111を使用するメンバーは、いずれかの入力欄1801～1807に入力していなくてもよい。メンバー用装置111は、更新ボタン1807が押下されたことを検出すると、入力内容を制御装置110に送信する。

【0161】

10

20

30

40

50

制御装置 110 は、入力内容を受信すると、ニコニコマークテーブル 500 と、つぶやきテーブル 600 とを更新する。制御装置 110 は、例えば、指標値を含む入力内容を受信すると、メンバーの認証時に受信したメンバー ID と、入力内容に含まれる日付と、指標値とを対応付けたレコードをニコニコマークテーブル 500 に追加して、ニコニコマークテーブル 500 を更新する。

#### 【0162】

制御装置 110 は、例えば、コメントを含む入力内容を受信すると、メンバーの認証時に受信したメンバー ID と、コメントであることを示すフラグと、入力内容に含まれる日時と、コメントとを対応付けたレコードをつぶやきテーブル 600 に追加する。そして、制御装置 110 は、つぶやきテーブル 600 を更新する。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、メンバー用装置 111 から受信したメンバーの指標値、およびコメントを記憶しておくことができる。

10

#### 【0163】

また、制御装置 110 は、例えば、バッチ処理により、午前 0 時になったときに、ニコニコマークテーブル 500 に基づいて、メンバー用装置 111 から受信したメンバーの指標値に基づくグループの統計情報を算出しておいてもよい。

#### 【0164】

メンバーのサンクストークンの送信

次に、図 19 を用いて、図 17 においてサンクストークン送信ボタン 1702 が押下された場合の、プロジェクトのグループに属するメンバーのサンクストークンの送金の一例について説明する。

20

#### 【0165】

図 19 は、メンバーのサンクストークンの送金の一例を示す説明図である。図 19 の例では、メンバー用装置 111 が、サンクストークン送信ボタン 1702 が押下されたことを検出して、サンクストークン送信画面 1900 の画面情報の送信要求を制御装置 110 に送信する。

#### 【0166】

この場合、制御装置 110 は、サンクストークン送信画面 1900 の画面情報の送信要求を受信すると、サンクストークンを入力するサンクストークン送信画面 1900 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信する。

30

#### 【0167】

そして、メンバー用装置 111 は、サンクストークン送信画面 1900 の画面情報を制御装置 110 から受信したことに応じて、出力装置 304 を用いて、サンクストークン送信画面 1900 を表示する。

#### 【0168】

サンクストークン送信画面 1900 は、サンクストークンの宛先を選択する選択欄 1901 と、サンクストークンの内容を入力する入力欄 1902 と、サンクストークンを送信する送信ボタン 1903 とを有する。

#### 【0169】

メンバー用装置 111 を使用するメンバーは、例えば、選択欄 1901 からサンクストークンの宛先を選択して、入力欄 1902 にサンクストークンの内容を入力して、送信ボタン 1903 を押下する。メンバー用装置 111 は、送信ボタン 1903 が押下されたことを検出すると、サンクストークンの宛先と、サンクストークンの内容とを制御装置 110 に送信する。

40

#### 【0170】

制御装置 110 は、サンクストークンの宛先と、サンクストークンの内容とを受信すると、メンバーの認証時に受信したメンバー ID と、宛先のメンバーのメンバー ID と、日時と、サンクストークンの内容とを対応付けたレコードを、サンクストークンテーブル 700 に追加する。そして、制御装置 110 は、サンクストークンテーブル 700 を更新する。

50



## 【 0 1 7 1 】

これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーからグループに属する他のメンバーへのサンクストークンの内容を記憶しておき、他のメンバーがメンバー用装置 1 1 1 を用いてサンクストークンの内容を閲覧できるようにする。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーからグループに属する他のメンバーへのサンクストークンの数を集計しておき、医療従事者に閲覧させることにより、医療従事者にグループ内のメンバーの間の交流の度合いを把握させることができる。

## 【 0 1 7 2 】

また、制御装置 1 1 0 は、発信元のメンバーのメンバー ID と、宛先のメンバーのメンバー ID の組み合わせに対して、一日一個の送信制限を設定しており、この制限のフラグを午前 0 時にリセットする。これにより、短時間で多量にサンクストークンを出すことによる、統計的な価値の低下を防ぐ。また、制御装置 1 1 0 は、例えば、バッチ処理により、午前 0 時になったときに、サンクストークンテーブル 7 0 0 に基づいて、メンバー用装置 1 1 1 から受信したサンクストークンに基づくグループの統計情報を算出しておいてもよい。

10

## 【 0 1 7 3 】

メンバーのサンクストークンの閲覧

次に、図 2 0 を用いて、図 1 7 においてサンクストークン受信ボタン 1 7 0 3 が押下された場合の、プロジェクトのグループに属するメンバーのサンクストークンの閲覧の一例について説明する。

20

## 【 0 1 7 4 】

図 2 0 は、メンバーのサンクストークンの閲覧の一例を示す説明図である。図 2 0 の例では、メンバー用装置 1 1 1 が、サンクストークン受信ボタン 1 7 0 3 が押下されたことを検出して、サンクストークン受信画面 2 0 0 0 の画面情報の送信要求を制御装置 1 1 0 に送信する。

## 【 0 1 7 5 】

制御装置 1 1 0 は、サンクストークン受信画面 2 0 0 0 の画面情報の送信要求を受信すると、サンクストークンテーブル 7 0 0 のうちで、メンバーの認証時に受信したメンバー ID が宛先メンバー ID 項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置 1 1 0 は、特定したレコードのメンバー ID 項目のメンバー ID が示すメンバーと、日付項目の日付と、サンクストークン項目のサンクストークンの内容とを含む、サンクストークン受信画面 2 0 0 0 の画面情報をメンバー用装置 1 1 1 に送信する。

30

## 【 0 1 7 6 】

メンバー用装置 1 1 1 は、サンクストークン受信画面 2 0 0 0 の画面情報を受信したことに応じて、出力装置 3 0 4 を用いて、サンクストークン受信画面 2 0 0 0 を表示する。

## 【 0 1 7 7 】

サンクストークン受信画面 2 0 0 0 は、サンクストークンを送信したメンバーと日付とを示し、サンクストークンの内容を表示する表示ボタン 2 0 0 1 と、サンクストークンの内容を表示する表示領域 2 0 0 2 とを有する。

40

## 【 0 1 7 8 】

メンバー用装置 1 1 1 を使用するメンバーは、例えば、表示ボタン 2 0 0 1 を押下する。メンバー用装置 1 1 1 は、表示ボタン 2 0 0 1 が押下されたことを検出すると、出力装置 3 0 4 を用いて、表示ボタン 2 0 0 1 に対応するサンクストークンの内容を、表示領域 2 0 0 2 に表示する。

## 【 0 1 7 9 】

これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーに、メンバー用装置 1 1 1 によって、他のメンバーからのメッセージを閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーの間の交流を可視化して、精神疾患の予知を支援することができる。

## 【 0 1 8 0 】

50

#### メンバーの一言アドバイスの閲覧

次に、図 2 1 を用いて、図 1 7 において一言アドバイスボタン 1 7 0 4 が押下された場合の、プロジェクトのグループに属するメンバーの一言アドバイスの閲覧の一例について説明する。

##### 【 0 1 8 1 】

図 2 1 は、メンバーの一言アドバイスの閲覧の一例を示す説明図である。図 2 1 の例では、メンバー用装置 1 1 1 が、一言アドバイスボタン 1 7 0 4 が押下されたことを検出して、一言アドバイス画面 2 1 0 0 の画面情報の送信要求を制御装置 1 1 0 に送信する。

##### 【 0 1 8 2 】

制御装置 1 1 0 は、一言アドバイス画面 2 1 0 0 の画面情報の送信要求を受信すると、つぶやきテーブル 6 0 0 のうちで、メンバーの認証時に受信したメンバー ID がメンバー ID 項目に設定され、フラグ項目に一言アドバイスであることを示すフラグが設定されたレコードを特定する。次に、制御装置 1 1 0 は、特定したレコードの日付項目の日付と、つぶやき項目の支援者の一言アドバイスの内容とを含む、一言アドバイス画面 2 1 0 0 の画面情報をメンバー用装置 1 1 1 に送信する。

##### 【 0 1 8 3 】

メンバー用装置 1 1 1 は、一言アドバイス画面 2 1 0 0 の画面情報を受信したことに応じて、出力装置 3 0 4 を用いて、一言アドバイス画面 2 1 0 0 を表示する。一言アドバイス画面 2 1 0 0 は、一言アドバイスが入力された日付を示し、一言アドバイスの内容を表示する表示ボタン 2 1 0 1 と、一言アドバイスの表示領域 2 1 0 2 とを有する。

##### 【 0 1 8 4 】

メンバー用装置 1 1 1 を使用するメンバーは、例えば、表示ボタン 2 1 0 1 を押下する。メンバー用装置 1 1 1 は、表示ボタン 2 1 0 1 が押下されたことを検出すると、出力装置 3 0 4 を用いて、表示ボタン 2 1 0 1 に対応する一言アドバイスの内容を、表示領域 2 1 0 2 に表示する。これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーに、メンバーが使用するメンバー用装置 1 1 1 によって、メンバーに対する支援者からの一言アドバイスを閲覧させることができる。このため、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーに対して、一言アドバイスを閲覧させることにより、支援者との繋がりを認識させることができる。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、メンバーと支援者との交流を活性化して、メンバー間では発言できないようなコメントを引き出しやすい環境を提供することができる。

##### 【 0 1 8 5 】

#### プロジェクト管理者のログオン

次に、図 2 2 を用いて、プロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者のログオンの一例について説明する。

##### 【 0 1 8 6 】

図 2 2 は、プロジェクト管理者のログオンの一例を示す説明図である。図 2 2 の例では、制御装置 1 1 0 は、プロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置 1 1 4 がプロジェクト管理者のログオン画面 2 2 0 0 のアドレスにアクセスしたことに応じて、プロジェクト管理者用装置 1 1 4 にプロジェクト管理者のログオン画面 2 2 0 0 の画面情報を送信する。

##### 【 0 1 8 7 】

プロジェクト管理者用装置 1 1 4 は、出力装置 3 0 4 を用いて、プロジェクト管理者のログオン画面 2 2 0 0 を表示する。プロジェクト管理者のログオン画面 2 2 0 0 は、プロジェクト管理者 ID を入力する入力欄 2 2 0 1 と、プロジェクト管理者の認証のためのパスワードを入力する入力欄 2 2 0 2 と、プロジェクト管理者の認証を行うログオンボタン 2 2 0 3 とを有する。

##### 【 0 1 8 8 】

プロジェクト管理者用装置 1 1 4 を使用するプロジェクト管理者は、入力装置 3 0 3 を用いて、入力欄 2 2 0 1 にプロジェクト管理者 ID 「 P j L 0 0 1 」を入力し、入力欄 2

10

20

30

40

50

202にパスワード「S z k T t」を入力し、ログオンボタン2203を押下する。プロジェクト管理者用装置114は、ログオンボタン2203が押下されたことを検出すると、プロジェクト管理者ID「P j L 0 0 1」とパスワード「S z k T t」とを、制御装置110に送信する。

【0189】

制御装置110は、プロジェクト管理者ID「P j L 0 0 1」とパスワード「S z k T t」とを受信すると、プロジェクト管理者ID「P j L 0 0 1」とパスワード「S z k T t」と対応付けたレコードがプロジェクト管理者ログオンテーブル900に記憶されているか否かを判定する。

【0190】

制御装置110は、プロジェクト管理者ログオンテーブル900に記憶されていると判定した場合、ログオンに成功したと判定して、集計テーブル1200のうちでプロジェクトID項目にプロジェクトIDが設定されたレコードを特定する。そして、制御装置110は、プロジェクト管理者用装置114に、プロジェクト管理者が操作するグループ管理画面の画面情報を送信する。ここで、グループ管理画面は、特定したレコードの日付項目の日付と、ニコニコ平均値項目の平均値と、ニコニコ参加率項目の参加率と、サンクス入力数項目の入力数と、サンクス参加率項目の参加率とを含む。

【0191】

一方で、制御装置110は、プロジェクト管理者ログオンテーブル900に記憶されていないと判定した場合、ログオンに失敗したとして、ログオンに失敗したことを示す情報をプロジェクト管理者用装置114に送信する。これにより、精神疾患予防支援システム100は、プロジェクト管理者以外の者が、プロジェクト管理者用装置114を使用して、メンバーの指標値、およびサンクストークンに基づくグループの統計情報を閲覧することを防止することができる。

【0192】

プロジェクト管理者の操作

次に、図23を用いて、プロジェクトのグループを管理するプロジェクト管理者の操作の一例について説明する。

【0193】

図23は、プロジェクト管理者の操作の一例を示す説明図である。図23の例では、プロジェクト管理者用装置114は、グループ管理画面2300の画面情報を受信したことに応じて、出力装置304を用いて、グループ管理画面2300を表示する。

【0194】

グループ管理画面2300は、グループに属するメンバーの精神状態を表す指標値の平均値と、グループに属するメンバーのうちで精神状態を表す指標値を入力したメンバーの割合を表す参加率と、を有する。また、グループ管理画面2300は、グループに属するメンバーのうちサンクストークンを入力したメンバーの数を表す入力数と、グループに属するメンバーのうちサンクストークンを入力したメンバーの割合を表す参加率とを有する。

【0195】

このように、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した指標値の統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信することができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した他のメンバーへのメッセージの統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信することができる。

【0196】

精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した指標値の統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信することができる。これにより、精神疾

10

20

30

40

50

患予防支援システム 100 によれば、プロジェクト管理者にグループの状態を把握させて、プロジェクト管理者にグループの状態改善を促すことができる。また、精神疾患予防支援システム 100 によれば、グループに属するプロジェクト管理者には、メンバー個人の指標値そのものを閲覧させることなく、指標値に基づく統計情報にしてから閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなく、指標値を入力することができる環境を提供することができる。

#### 【0197】

支援者のログオン

10

次に、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者のログオンの一例について説明する。

#### 【0198】

制御装置 110 は、支援者が使用する支援者用装置 112 が支援者のログオン画面のアドレスにアクセスしたことに応じて、支援者用装置 112 に支援者のログオン画面の画面情報を送信する。

#### 【0199】

支援者用装置 112 は、出力装置 304 を用いて、支援者のログオン画面を表示する。支援者のログオン画面は、プロジェクト管理者のログオン画面 2200 と同様の画面であるため、図示を省略する。支援者のログオン画面は、例えば、プロジェクト管理者 ID を入力する入力欄 2201 の代わりに支援者 ID を入力する入力欄と、プロジェクト管理者の認証のためのパスワードを入力する入力欄 2202 の代わりに支援者の認証のためのパスワードを入力する入力欄とを有する。また、支援者のログオン画面は、支援者の認証を行うログオンボタンを有する。

20

#### 【0200】

支援者用装置 112 を使用する支援者は、入力装置 303 を用いて、支援者 ID を入力する入力欄に支援者 ID 「P j S 0 0 1」を入力し、支援者の認証のためのパスワードを入力する入力欄にパスワード「Y s d N y」を入力し、ログオンボタンを押下する。支援者用装置 112 は、ログオンボタンが押下されたことを検出すると、支援者 ID 「P j S 0 0 1」とパスワード「Y s d N y」とを、制御装置 110 に送信する。

30

#### 【0201】

制御装置 110 は、支援者 ID 「P j S 0 0 1」とパスワード「Y s d N y」とを受信すると、支援者 ID 「P j S 0 0 1」とパスワード「Y s d N y」とを対応付けたレコードが支援者ログオンテーブル 1100 に記憶されているか否かを判定する。

#### 【0202】

制御装置 110 は、支援者ログオンテーブル 1100 に記憶されていると判定した場合、ログオンに成功したと判定して、プロジェクト管理者リストテーブル 1000 のうちで、受信した支援者 ID が支援者 ID 項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置 110 は、特定したレコードのプロジェクト ID 項目のプロジェクト ID を抽出する。

#### 【0203】

40

そして、制御装置 110 は、メンバーリストテーブル 800 のうちで、抽出したプロジェクト ID がプロジェクト ID 項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置 110 は、特定したレコードのメンバー ID 項目のメンバー ID を含む、支援者が操作するメンバー選択画面の画面情報を作成して、支援者用装置 112 に送信する。メンバー選択画面は、メンバー ID の代わりに、メンバー ID が示すメンバーの氏名を含んでもよい。

#### 【0204】

一方で、制御装置 110 は、支援者ログオンテーブル 1100 に記憶されていないと判定した場合、ログオンに失敗したとして、ログオンに失敗したことを示す情報を支援者用装置 112 に送信する。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、支援者以外の者が、支援者用装置 112 を使用して、メンバーのコメントなどを閲覧したりすることを

50

防止することができる。

【0205】

ここでは、制御装置110が、プロジェクト管理者リストテーブル1000のうちで、受信した支援者IDが支援者ID項目に設定されたレコードが一つである場合について説明した。換言すれば、支援者が一つのプロジェクトに属するメンバーを支援する者である場合について説明したが、これに限らない。例えば、支援者が複数のプロジェクトの各々のプロジェクトに属するメンバーを支援する者であってもよい。

【0206】

この場合、制御装置110は、プロジェクト管理者リストテーブル1000のうちで、受信した支援者IDが支援者ID項目に設定された複数のレコードを特定する。次に、特定した各々のレコードのプロジェクトID項目のプロジェクトIDを抽出して、いずれかのプロジェクトIDを選択するプロジェクト選択画面の画面情報を作成して、支援者用装置112に送信する。そして、制御装置110は、支援者用装置112によって選択されたプロジェクトIDを受け付け、メンバーリストテーブル800のうちで、受け付けたプロジェクトIDがプロジェクトID項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置110は、特定したレコードのメンバーID項目のメンバーIDを含む、支援者が操作するメンバー選択画面の画面情報を作成して、送信する。

10

【0207】

支援者の操作

次に、図24を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者の操作の一例について説明する。

20

【0208】

図24は、支援者の操作の一例を示す説明図である。図24の例では、支援者用装置112は、メンバー選択画面2400の画面情報を受信したことに応じて、出力装置304を用いて、メンバー選択画面2400を表示する。

【0209】

メンバー選択画面2400は、グループに属するメンバーのメンバーIDを選択する選択欄2401を有する。メンバー選択画面2400は、メンバーIDを選択する選択欄2401の代わりに、メンバーIDが示すメンバーの氏名を選択する選択欄を含んでもよい。また、メンバー選択画面は、メンバーIDに対応付けて、メンバーIDが示すメンバーがコメントを最後に入力した日付やメンバーIDが示すメンバーに対して一言アドバイスを最後に入力した日付を有していてもよい。

30

【0210】

支援者用装置112を使用する支援者は、入力装置303を用いて、選択欄2401のメンバーID「PjM001」を選択する。支援者用装置112は、メンバーIDが選択されたことを検出すると、メンバーID「PjM001」を、制御装置110に送信する。

【0211】

制御装置110は、メンバーID「PjM001」を受信すると、つぶやきテーブル600のうちで、受信したメンバーID「PjS001」がメンバーID項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置110は、特定したレコードの日付項目の日付と、つぶやき項目のコメントの内容、または一言アドバイスの内容との組み合わせを抽出する。そして、制御装置110は、抽出した組み合わせを含む、一言アドバイス入力画面の画面情報を作成して、支援者用装置112に送信する。

40

【0212】

なお、上述したように、支援者が複数のプロジェクトの各々のプロジェクトに属するメンバーを支援する者であってもよい。この場合、支援者用装置112は、メンバー選択画面2400を表示する前に、プロジェクト選択画面の画面情報を受信し、プロジェクト選択画面を表示してプロジェクト選択画面において選択されたプロジェクトIDを制御装置110に送信することになる。そして、支援者用装置112は、送信したプロジェクトI

50

Dに対応するメンバー選択画面2400の画面情報を受信し、メンバー選択画面2400を表示する。

【0213】

支援者の一言アドバイスの入力

次に、図25を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者の一言アドバイスの入力の一例について説明する。

【0214】

図25は、支援者の一言アドバイスの入力の一例を示す説明図である。図25の例では、支援者用装置112は、一言アドバイス入力画面2500の画面情報を受信したことに応じて、出力装置304を用いて、一言アドバイス入力画面を表示する。

10

【0215】

一言アドバイス入力画面2500は、過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容を表示する表示欄2501と、一言アドバイスを入力する入力欄2502と、一言アドバイスを送信する送信ボタン2503とを有する。また、一言アドバイス入力画面2500は、制御装置110に医療従事者への通報が必要であることを示す情報を送信する通報ボタン2504を有する。

【0216】

支援者用装置112を使用する支援者は、入力装置303を用いて、表示欄2501を参照して、入力欄2502に一言アドバイスを入力して、送信ボタン2503を押下する。支援者用装置112は、送信ボタン2503が押下されたことを検出すると、メンバーID「PjM001」と、入力欄2502に入力された一言アドバイスの内容とを対応付けて、制御装置110に送信する。

20

【0217】

制御装置110は、メンバーID「PjM001」と一言アドバイスの内容とを受信すると、メンバーID「PjM001」と日付と一言アドバイスの内容とを対応付けたレコードを、つぶやきテーブル600に追加する。これにより、精神疾患予防支援システム100は、一言アドバイスのやり取りによりメンバーと支援者との交流を活性化して、精神疾患の予兆を発見する機会を増やし、精神疾患の予防を支援することができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーと支援者との交流を活性化して、支援者に閲覧されるメンバーのコメントを入力しやすい環境を提供することができる。

30

【0218】

また、支援者用装置112を使用する支援者は、表示欄2501に表示された、過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容を参照して、メンバーID「PjM001」が示すメンバーに精神疾患の予兆があるか否かを判断する。そして、支援者用装置112を使用する支援者は、精神疾患の予兆があると判断したことに応じて、入力装置303を用いて、通報ボタン2504を押下する。支援者用装置112は、通報ボタン2504が押下されたことを検出すると、メンバーID「PjM001」と、医療従事者への通報が必要であることを示す情報と、を対応付けて、制御装置110に送信する。

【0219】

制御装置110は、メンバーID「PjM001」と、医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信すると、メンバーID「PjM001」に対応付けてニコニコマークテーブル500に記憶された指標値を抽出する。また、制御装置110は、メンバーID「PjM001」に対応付けてつぶやきテーブル600に記憶された過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容を抽出する。また、制御装置110は、メンバーID「PjM001」に対応付けてサンクストークンテーブル700に記憶されたサンクストークンの内容を抽出する。

40

【0220】

そして、制御装置110は、医療従事者用装置113に、メンバーID「PjM001」と、抽出した指標値と、抽出した過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容と、抽出したサンクストークンの内容とを送信する。また、制御装置110は、医療従事

50

者用装置 1 1 3 に、指標値から算出したグループの統計情報、およびサンクストークンから算出したグループの統計情報を送信してもよい。

【 0 2 2 1 】

なお、制御装置 1 1 0 は、医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信した時点で、医療従事者用装置 1 1 3 に、各種情報を送信してもよい。また、制御装置 1 1 0 は、医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信した後、医療従事者用装置 1 1 3 から医療従事者がログオンした時点で、各種情報を送信してもよい。

【 0 2 2 2 】

また、一言アドバイス入力画面 2 5 0 0 は、さらに、医療従事者への通報が必要であると判断されたメンバーに対する、支援者の所見を入力する入力欄を有してもよい。

10

【 0 2 2 3 】

支援者用装置 1 1 2 を使用する支援者は、入力装置 3 0 3 を用いて、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 が示すメンバーに精神疾患の予兆があると判断した場合に、支援者の所見を入力する入力欄に所見を入力する。そして、支援者用装置 1 1 2 を使用する支援者は、精神疾患の予兆があると判断したことに応じて、通報ボタン 2 5 0 4 を押下する。支援者用装置 1 1 2 は、通報ボタン 2 5 0 4 が押下されたことを検出すると、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 と、医療従事者への通報が必要であることを示す情報と、入力されたメンバーに対する支援者の所見と、を対応付けて、制御装置 1 1 0 に送信する。

【 0 2 2 4 】

制御装置 1 1 0 は、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 と、医療従事者への通報が必要であることを示す情報と、メンバーに対する支援者の所見とを受信すると、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 に対応付けて、メンバーに対する支援者の所見を記憶する。また、制御装置 1 1 0 は、プロジェクトのグループの識別情報に対応する集計テーブル 1 2 0 0 のレコードに含まれる所見数項目と所見受信日付項目とを更新する。

20

【 0 2 2 5 】

次に、制御装置 1 1 0 は、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 に対応付けて、ニコニコマークテーブル 5 0 0 に記憶された指標値を抽出する。また、制御装置 1 1 0 は、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 に対応付けてつぶやきテーブル 6 0 0 に記憶された過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容を抽出する。また、制御装置 1 1 0 は、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 に対応付けてサンクストークンテーブル 7 0 0 に記憶されたサンクストークンの内容を抽出する。

30

【 0 2 2 6 】

そして、制御装置 1 1 0 は、医療従事者用装置 1 1 3 に、メンバー ID 「 P j M 0 0 1 」 と、抽出した指標値と、抽出した過去のコメントの内容、および一言アドバイスの内容と、抽出したサンクストークンの内容と、所見数と、所見を受信した日付とを送信する。また、制御装置 1 1 0 は、医療従事者用装置 1 1 3 に、指標値から算出したグループの統計情報、およびサンクストークンから算出したグループの統計情報を送信してもよい。

【 0 2 2 7 】

これにより、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、グループに属するメンバーが入力したコメントを、グループに属さない支援者に送信することにより、メンバーの精神疾患の予兆を発見する機会を支援者にまで広げることができる。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、医療従事者が複数のグループの各々のグループに属するすべてのメンバーの精神状態を監視しなくてもよい環境を提供することができる。これにより、医療従事者の負担を低減することができ、医療従事者は、精神疾患の可能性のあるメンバーに集中して精神疾患の対策をすることができる。

40

【 0 2 2 8 】

また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、指標値の統計情報、およびサンクストークンの統計情報を医療従事者に提供して、医療従事者にグループの状態、およびメンバーの間の交流の度合いを把握させることができる。また、精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、指標値、コメントの内容、一言アドバイスの内容、およびサンクストークンの内容を医

50

療従事者に提供して、医療従事者にグループの状態、およびメンバーの間の交流の度合いを把握させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、医療従事者が精神疾患の対策をすることを支援することができる。

#### 【0229】

このように、精神疾患予防支援システム 100 は、メンバーが主観に基づいて入力した指標値やコメントを、支援者や医療従事者に閲覧させることができ、メンバーの精神状態を把握しやすくする環境を提供することができる。また、精神疾患予防支援システム 100 は、医療従事者に、各々のテーブルの記憶内容と、実際に精神疾患にかかったメンバーと、を参照させることにより、精神疾患にかかる場合の各々のテーブルの内容の規則性を発見しやすくする環境を提供することができる。

10

#### 【0230】

医療従事者のログオン

次に、医療従事者のログオンの一例について説明する。

#### 【0231】

制御装置 110 は、医療従事者が使用する医療従事者用装置 113 が医療従事者のログオン画面のアドレスにアクセスしたことに応じて、医療従事者用装置 113 に医療従事者のログオン画面の画面情報を送信する。

#### 【0232】

医療従事者用装置 113 は、出力装置 304 を用いて、医療従事者のログオン画面を表示する。医療従事者のログオン画面は、プロジェクト管理者のログオン画面 2200 と同様の画面であるため、図示を省略する。医療従事者のログオン画面は、例えば、プロジェクト管理者 ID を入力する入力欄 2201 の代わりに医療従事者 ID を入力する入力欄と、医療従事者の認証のためのパスワードを入力する入力欄 2202 の代わりに医療従事者の認証のためのパスワードを入力する入力欄とを有する。また、医療従事者のログオン画面は、医療従事者の認証を行うログオンボタンとを有する。

20

#### 【0233】

医療従事者用装置 113 を使用する医療従事者は、入力装置 303 を用いて、医療従事者 ID を入力する入力欄に医療従事者 ID 「P j D 0 0 1」を入力し、医療従事者の認証のためのパスワードを入力する入力欄にパスワード「M d A k n r」を入力し、ログオンボタンを押下する。医療従事者用装置 113 は、ログオンボタンが押下されたことを検出すると、医療従事者 ID 「P j D 0 0 1」とパスワード「M d A k n r」とを、制御装置 110 に送信する。

30

#### 【0234】

制御装置 110 は、医療従事者 ID 「P j D 0 0 1」とパスワード「M d A k n r」とを受信すると、医療従事者 ID 「P j D 0 0 1」とパスワード「M d A k n r」と対応付けたレコードが医療従事者ログオンテーブル 1300 に記憶されているか否かを判定する。

#### 【0235】

制御装置 110 は、医療従事者ログオンテーブル 1300 に記憶されていると判定した場合、ログオンに成功したと判定して、集計テーブル 1200 のうちでプロジェクト ID 項目に、医療従事者が担当するプロジェクトのプロジェクト ID が設定されたレコードを特定する。そして、制御装置 110 は、医療従事者用装置 113 に、特定したレコードに基づく、医療従事者が操作する精神疾患予防画面の画面情報を作成して、送信する。

40

#### 【0236】

精神疾患予防画面は、特定したレコードの日付項目の日付と、ニコニコ平均値項目の平均値と、ニコニコ参加率項目の参加率と、サンクス入力数項目の入力数と、サンクス参加率項目の参加率とを含む。また、精神疾患予防画面は、特定したレコードの所見数項目の所見数と、所見受信日付項目の日付とを含んでもよい。

#### 【0237】

一方で、制御装置 110 は、医療従事者ログオンテーブル 1300 に記憶されていない

50



と判定した場合、ログオンに失敗したとして、ログオンに失敗したことを示す情報を医療従事者用装置 113 に送信する。これにより、精神疾患予防支援システム 100 は、医療従事者以外の者が、医療従事者用装置 113 を使用して、メンバーの指標値、コメント、サнкストークン、メンバーの指標値およびサнкストークンに基づく統計情報を閲覧することを防止することができる。

#### 【0238】

ここでは、制御装置 110 が、医療従事者が一つのプロジェクトを担当する者である場合について説明したが、これに限らない。例えば、医療従事者が複数のプロジェクトを担当する者であってもよい。

#### 【0239】

この場合、制御装置 110 は、複数のプロジェクトのプロジェクトIDのうちのいずれかのプロジェクトIDを選択するプロジェクト選択画面の画面情報を作成して、医療従事者用装置 113 に送信する。このとき、プロジェクト選択画面は、各々のプロジェクトにおける所見の数を有してもよい。そして、制御装置 110 は、医療従事者用装置 113 によって選択されたプロジェクトIDを受け付け、集計テーブル 1200 のうちで、受け付けたプロジェクトIDがプロジェクトID項目に設定されたレコードを特定する。次に、制御装置 110 は、特定したレコードに基づく、医療従事者が操作する精神疾患予防画面の画面情報を作成して、医療従事者用装置 113 に送信する。

#### 【0240】

医療従事者の操作

次に、図 26 を用いて、医療従事者の操作の一例について説明する。

#### 【0241】

図 26 は、医療従事者の操作の一例を示す説明図である。図 26 の例では、医療従事者用装置 113 は、精神状態管理画面 2600 の画面情報を受信したことに応じて、出力装置 304 を用いて、精神状態管理画面 2600 を表示する。

#### 【0242】

精神状態管理画面 2600 は、グループに属するメンバーの精神状態を表す指標値の平均値と、グループに属するメンバーのうちで精神状態を表す指標値を入力したメンバーの割合を表す参加率と、を有する。また、精神状態管理画面 2600 は、グループに属するメンバーのうちサнкストークンを入力したメンバーの数を表す入力数と、グループに属するメンバーのうちサнкストークンを入力したメンバーの割合を表す参加率とを有する。

#### 【0243】

また、精神状態管理画面 2600 は、支援者から通報されたメンバーIDを選択する選択欄を有してもよい。また、精神状態管理画面 2600 は、プロジェクトに属するメンバーに対する支援者からの所見の数と、所見を受信した最新の日付とを有してもよい。また、精神状態管理画面 2600 は、プロジェクトに属するメンバーに対する支援者からの所見の内容を有してもよい。そして、医療従事者用装置 113 は、選択欄に入力されたメンバーIDを制御装置 110 に送信してもよい。

#### 【0244】

制御装置 110 は、選択欄に入力されたメンバーIDを受信すると、受信したメンバーIDに対応付けて、ニコニコマークテーブル 500 に記憶された指標値を特定する。また、制御装置 110 は、受信したメンバーIDに対応付けて、つぶやきテーブル 600 に記憶されたコメントの内容、または一言アドバイスの内容を特定する。また、制御装置 110 は、受信したメンバーIDに対応付けて、サнкストークンテーブル 700 に記憶されたサнкストークンの内容を特定する。

#### 【0245】

そして、制御装置 110 は、特定した情報を含む、メンバー状態管理画面の画面情報を第3の情報処理装置に送信してもよい。これにより、医療従事者は、第3の情報処理装置を用いて、通報が必要であると判断されたメンバーについての詳細な情報を閲覧すること

10

20

30

40

50

ができ、メンバーの精神疾患の予防を重点的に行うことができ、精神疾患を防ぐ。また、医療従事者は、所見の数、および所見の内容を閲覧して、メンバーの精神状態を把握したり、グループがメンバーに精神疾患を発生させやすい環境になっているか否かを判断したりすることができる。

#### 【0246】

なお、上述したように、医療従事者が複数のプロジェクトを担当する者であってもよい。この場合、医療従事者用装置113は、精神状態管理画面2600を表示する前に、プロジェクト選択画面の画面情報を受信し、プロジェクト選択画面を表示してプロジェクト選択画面において選択されたプロジェクトIDを制御装置110に送信することになる。このとき、医療従事者用装置113は、プロジェクト選択画面に各々のプロジェクトにおける所見の数を表示して、医療従事者が所見の数が相対的に多いプロジェクト、すなわち精神疾患を発生させやすい環境になっているおそれがあるプロジェクトを把握することができるようにしてもよい。そして、医療従事者用装置113は、送信したプロジェクトIDに対応する精神状態管理画面2600の画面情報を受信し、精神状態管理画面2600を表示する。

10

#### 【0247】

(メンバーからのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順)

次に、図27～図32を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーからのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順の一例について説明する。

#### 【0248】

図27～図32は、メンバーからのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。図27において、制御装置110は、メンバー用装置111からメンバーのログオン画面1600のアドレスへのアクセスを受け付ける(ステップS2701)。

20

#### 【0249】

次に、制御装置110は、メンバー用装置111の機器IDが登録済みか否かを判定する(ステップS2702)。ここで、登録済みである場合(ステップS2702: Yes)、制御装置110は、ログオンテーブル400に基づいて、機器IDに対応するメンバーIDを特定する(ステップS2703)。そして、制御装置110は、図28のステップS2801の処理に移行する。

30

#### 【0250】

一方で、登録済みではない場合(ステップS2702: No)、制御装置110は、メンバーのログオン画面1600の画面情報をメンバー用装置111に送信する(ステップS2704)。次に、制御装置110は、メンバーのログオン画面1600に入力されたメンバーIDとパスワードとを受け付ける(ステップS2705)。

#### 【0251】

そして、制御装置110は、受け付けたメンバーIDとパスワードとの組み合わせを、ログオンテーブル400の記憶内容と照合する(ステップS2706)。次に、制御装置110は、受け付けたメンバーIDとパスワードとの組み合わせが、ログオンテーブル400のメンバーID項目のメンバーIDとパスワード項目のパスワードの組み合わせと一致するか否かを判定する(ステップS2707)。

40

#### 【0252】

ここで、一致しない場合(ステップS2707: No)、制御装置110は、ステップS2704の処理に戻る。一方で、一致する場合(ステップS2707: Yes)、制御装置110は、機器IDを登録するか否かを判定する(ステップS2708)。ここで、機器IDを登録しない場合(ステップS2708: No)、制御装置110は、図28のステップS2801の処理に移行する。一方で、機器IDを登録する場合(ステップS2708: Yes)、制御装置110は、ログオンテーブル400に機器IDを登録して(ステップS2709)、図28のステップS2801の処理に移行する。

#### 【0253】

50

図28において、制御装置110は、初期画面1700の画面情報をメンバー用装置111に送信する(ステップS2801)。次に、制御装置110は、ショート日記が選択されたか否かを判定する(ステップS2802)。ここで、ショート日記が選択された場合(ステップS2802: Yes)、制御装置110は、図29のステップS2901の処理に移行する。

【0254】

一方で、ショート日記が選択されなかった場合(ステップS2802: No)、制御装置110は、サンクストークン送信が選択されたか否かを判定する(ステップS2803)。ここで、サンクストークン送信が選択された場合(ステップS2803: Yes)、制御装置110は、図30のステップS3001の処理に移行する。

10

【0255】

一方で、サンクストークン送信が選択されなかった場合(ステップS2803: No)、制御装置110は、サンクストークン受信が選択されたか否かを判定する(ステップS2804)。ここで、サンクストークン受信が選択された場合(ステップS2804: Yes)、制御装置110は、図31のステップS3101の処理に移行する。

【0256】

一方で、サンクストークン受信が選択されなかった場合(ステップS2804: No)、制御装置110は、一言アドバイスが選択されたか否かを判定する(ステップS2805)。ここで、一言アドバイスが選択された場合(ステップS2805: Yes)、制御装置110は、図32のステップS3201の処理に移行する。

20

【0257】

一方で、一言アドバイスが選択されなかった場合(ステップS2805: No)、制御装置110は、ログオフをして(ステップS2806)、メンバーからのアクセスに対する応答処理を終了する。

【0258】

図29において、制御装置110は、メンバーの精神状態を表す指標値を入力する入力欄1803と、メンバーのコメントを入力する入力欄1806となどを有するショート日記画面1800の画面情報を作成する(ステップS2901)。次に、制御装置110は、作成したショート日記画面1800の画面情報をメンバー用装置111に送信する(ステップS2902)。

30

【0259】

そして、制御装置110は、ショート日記画面1800に入力された入力内容を受信する(ステップS2903)。次に、制御装置110は、入力内容に基づいて、ニコニコマークテーブル500と、つぶやきテーブル600とを更新する(ステップS2904)。そして、制御装置110は、図28のステップS2801の処理に戻る。

【0260】

図30において、制御装置110は、メンバーリストテーブル800のうちでメンバーID項目にメンバーIDが設定されたレコードを特定して、特定したレコードのプロジェクトID項目に設定されたプロジェクトIDを抽出する(ステップS3001)。

【0261】

40

次に、制御装置110は、メンバーリストテーブル800のうちでプロジェクトID項目に抽出したプロジェクトIDが設定されたすべてのレコードを特定し、特定したレコードのメンバーID項目に設定されたメンバーIDを抽出する(ステップS3002)。

【0262】

そして、制御装置110は、抽出したメンバーIDから、サンクストークン送信画面1900の画面情報を作成する(ステップS3003)。サンクストークン送信画面1900は、例えば、サンクストークンの宛先を選択する選択欄1901と、サンクストークンの内容を入力する入力欄1902と、サンクストークンを送信する送信ボタン1903とを有する。

【0263】

50

次に、制御装置 110 は、作成したサンクストークン送信画面 1900 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信する（ステップ S3004）。そして、制御装置 110 は、サンクストークン送信画面 1900 に入力された入力内容を受信する（ステップ S3005）。

【0264】

次に、制御装置 110 は、入力内容に基づいて、サンクストークンテーブル 700 を更新する（ステップ S3006）。そして、制御装置 110 は、図 28 のステップ S2801 の処理に戻る。

【0265】

図 31 において、制御装置 110 は、サンクストークンテーブル 700 のうちでメンバー ID が宛先メンバー ID 項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードのメンバー ID 項目のメンバー ID が示すメンバーと、日付項目の日付とを抽出する（ステップ S3101）。

【0266】

次に、制御装置 110 は、抽出したメンバー ID と日付とを含むサンクストークン受信画面 2000 の画面情報を作成する（ステップ S3102）。そして、制御装置 110 は、作成したサンクストークン受信画面 2000 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信する（ステップ S3103）。次に、制御装置 110 は、サンクストークン受信画面 2000 に入力された入力内容を受信する（ステップ S3104）。

【0267】

そして、制御装置 110 は、入力内容に基づいて、サンクストークンテーブル 700 のうちで入力内容がメンバー ID 項目と日付項目とに設定されたレコードを特定して、特定したレコードのサンクストークン項目のサンクストークンの内容を抽出する（ステップ S3105）。

【0268】

次に、制御装置 110 は、抽出したメンバー ID と日付とを含み、さらに、抽出したサンクストークンの内容を含む、サンクストークン受信画面 2000 の画面情報を作成する（ステップ S3106）。そして、制御装置 110 は、作成したサンクストークン受信画面 2000 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信して（ステップ S3107）、図 28 のステップ S2801 の処理に戻る。

【0269】

図 32 において、制御装置 110 は、つぶやきテーブル 600 のうちで、メンバー ID がメンバー ID 項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードの日付項目の日付とフラグ項目のフラグとを抽出する（ステップ S3201）。

【0270】

次に、制御装置 110 は、抽出した日付とフラグとの組み合わせを含む一言アドバイス画面 2100 の画面情報を作成する（ステップ S3202）。そして、制御装置 110 は、作成した一言アドバイス画面 2100 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信する（ステップ S3203）。

【0271】

次に、制御装置 110 は、一言アドバイス画面 2100 に入力された入力内容を受信する（ステップ S3204）。そして、制御装置 110 は、つぶやきテーブル 600 の受信した入力内容が日付項目とフラグ項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードのつぶやき項目のコメントの内容、または一言アドバイスの内容を抽出する（ステップ S3205）。

【0272】

次に、制御装置 110 は、抽出した日付とフラグとの組み合わせを含み、さらに、抽出した内容を含む一言アドバイス画面 2100 の画面情報を作成する（ステップ S3206）。そして、制御装置 110 は、作成した一言アドバイス画面 2100 の画面情報をメンバー用装置 111 に送信して（ステップ S3207）、図 28 のステップ S2801 の処

10

20

30

40

50

理に戻る。

【 0 2 7 3 】

( 制御装置 1 1 0 の集計処理手順 )

次に、図 3 3 を用いて、受信した指標値やサンクストークンに対する制御装置 1 1 0 の集計処理手順の一例について説明する。

【 0 2 7 4 】

図 3 3 は、制御装置 1 1 0 の集計処理手順の一例を示すフローチャートである。図 3 3 において、制御装置 1 1 0 は、複数のプロジェクトのプロジェクト ID のうちの未選択のプロジェクト ID を選択する ( ステップ S 3 3 0 1 ) 。

【 0 2 7 5 】

次に、制御装置 1 1 0 は、メンバーリストテーブル 8 0 0 のうちで、所定の日付が日付項目に設定され、かつ、選択したプロジェクト ID がプロジェクト ID 項目に設定されたすべてのレコードを特定する。そして、制御装置 1 1 0 は、特定したレコードのメンバー ID 項目のメンバー ID を抽出する ( ステップ S 3 3 0 2 ) 。

【 0 2 7 6 】

そして、制御装置 1 1 0 は、ニコニコマークテーブル 5 0 0 のうちで、抽出したメンバー ID がメンバー ID 項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードの指標値項目の指標値を抽出して、抽出した指標値の平均値を算出する ( ステップ S 3 3 0 3 ) 。次に、制御装置 1 1 0 は、特定したレコードの割合を算出する ( ステップ S 3 3 0 4 ) 。

【 0 2 7 7 】

そして、制御装置 1 1 0 は、サンクストークンテーブル 7 0 0 のうちで、抽出したメンバー ID がメンバー ID 項目に設定されたレコードを特定して、レコードの数を算出する ( ステップ S 3 3 0 5 ) 。次に、制御装置 1 1 0 は、特定したレコードの割合を算出する ( ステップ S 3 3 0 6 ) 。

【 0 2 7 8 】

そして、制御装置 1 1 0 は、指標値の平均値と、指標値の割合と、レコードの数と、レコードの割合とを対応付けたレコードを集計テーブル 1 2 0 0 に登録する ( ステップ S 3 3 0 7 ) 。次に、制御装置 1 1 0 は、すべてのプロジェクト ID を選択したか否かを判定する ( ステップ S 3 3 0 8 ) 。

【 0 2 7 9 】

ここで、すべてのプロジェクト ID を選択していない場合 ( ステップ S 3 3 0 8 : N o ) 、制御装置 1 1 0 は、ステップ S 3 3 0 1 の処理に戻る。一方で、すべてのプロジェクト ID を選択している場合 ( ステップ S 3 3 0 8 : Y e s ) 、制御装置 1 1 0 は、集計処理を終了する。

【 0 2 8 0 】

( 支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順 )

次に、図 3 4 ~ 図 3 6 を用いて、プロジェクトのグループに属するメンバーを支援する支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例について説明する。

【 0 2 8 1 】

図 3 4 ~ 図 3 6 は、支援者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。図 3 4 において、制御装置 1 1 0 は、支援者用装置 1 1 2 から支援者のログオン画面のアドレスへのアクセスを受け付ける ( ステップ S 3 4 0 1 ) 。

【 0 2 8 2 】

次に、制御装置 1 1 0 は、ログオン画面の画面情報を支援者用装置 1 1 2 に送信する ( ステップ S 3 4 0 2 ) 。そして、制御装置 1 1 0 は、ログオン画面に入力された支援者 ID とパスワードとを受け付ける ( ステップ S 3 4 0 3 ) 。

【 0 2 8 3 】

次に、制御装置 1 1 0 は、受け付けた支援者 ID とパスワードとの組み合わせを、支援者ログオンテーブル 1 1 0 0 の記憶内容と照合する ( ステップ S 3 4 0 4 ) 。そして、制

10

20

30

40

50

御装置 110 は、受け付けた支援者 ID とパスワードとの組み合わせが、支援者ログインテーブル 1100 の支援者 ID 項目の支援者 ID とパスワード項目のパスワードの組み合わせと一致するか否かを判定する（ステップ S3405）。

【0284】

ここで、一致しない場合（ステップ S3405：No）、制御装置 110 は、ステップ S3402 の処理に戻る。一方で、一致する場合（ステップ S3405：Yes）、制御装置 110 は、図 35 のステップ S3501 の処理に移行する。

【0285】

図 35 において、制御装置 110 は、プロジェクト管理者リストテーブル 1000 のうちで、受け付けた支援者 ID が支援者 ID 項目に設定されたレコードを特定する。そして、制御装置 110 は、特定したレコードのプロジェクト ID 項目に設定されたプロジェクト ID を抽出する（ステップ S3501）。

10

【0286】

次に、制御装置 110 は、メンバーリストテーブル 800 のうちで、抽出したプロジェクト ID がプロジェクト ID 項目に設定されたすべてのレコードを特定する。そして、制御装置 110 は、特定したレコードのメンバー ID 項目のメンバー ID を含む、メンバー選択画面 2400 の画面情報を作成し、支援者用装置 112 に送信する（ステップ S3502）。

【0287】

そして、制御装置 110 は、メンバー選択画面 2400 に入力されたメンバー ID を受信する（ステップ S3503）。次に、制御装置 110 は、つぶやきテーブル 600 のうちで、受信したメンバー ID がメンバー ID 項目に設定されたすべてのレコードを特定して、特定したレコードのつぶやき項目のコメントの内容、または一言アドバイスの内容を抽出する（ステップ S3504）。

20

【0288】

そして、制御装置 110 は、抽出したコメントの内容、および一言アドバイスの内容を含む、一言アドバイス入力画面 2500 の画面情報を作成する（ステップ S3505）。次に、制御装置 110 は、作成した一言アドバイス入力画面 2500 の画面情報を支援者用装置 112 に送信する（ステップ S3506）。

【0289】

30

そして、制御装置 110 は、一言アドバイス入力画面 2500 に入力された入力内容を受信する（ステップ S3507）。次に、制御装置 110 は、入力内容が一言アドバイスの内容であるか否かを判定する（ステップ S3508）。ここで、一言アドバイスの内容である場合（ステップ S3508：Yes）、制御装置 110 は、つぶやきテーブル 600 を更新して（ステップ S3509）、支援者からのアクセスに対する応答処理を終了する。

【0290】

一方で、一言アドバイスの内容ではなく、医療従事者への通報が必要であることを示す情報である場合（ステップ S3508：No）、制御装置 110 は、図 36 のステップ S3601 の処理に移行する。

40

【0291】

図 36 において、制御装置 110 は、通報が必要なメンバーのメンバー ID に対応する氏名など、メンバーを特定する情報を含む通報情報を作成する（ステップ S3601）。次に、制御装置 110 は、作成した通報情報を医療従事者用装置 113 に送信する（ステップ S3602）。そして、制御装置 110 は、集計テーブル 1200 の所見数項目をインクリメントして、所見受信日付項目に入力内容を受信した日付を設定して（ステップ S3603）、支援者からのアクセスに対する応答処理を終了する。なお、医療従事者に割り当てられたメールアドレスへ、通報情報を送信することにより、メールアドレスを医療従事者の識別情報として利用し、当該メールを受信するコンピュータを医療従事者用装置 113 として利用してもよい。

50

## 【 0 2 9 2 】

( 医療従事者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順 )

次に、図 3 7 を用いて、医療従事者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例について説明する。

## 【 0 2 9 3 】

図 3 7 は、医療従事者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。図 3 7 において、制御装置 1 1 0 は、医療従事者用装置 1 1 3 から医療従事者のログオン画面のアドレスへのアクセスを受け付ける ( ステップ S 3 7 0 1 ) 。

## 【 0 2 9 4 】

次に、制御装置 1 1 0 は、ログオン画面の画面情報を医療従事者用装置 1 1 3 に送信する ( ステップ S 3 7 0 2 ) 。そして、制御装置 1 1 0 は、ログオン画面に入力された医療従事者 ID とパスワードとを受け付ける ( ステップ S 3 7 0 3 ) 。

## 【 0 2 9 5 】

そして、制御装置 1 1 0 は、受け付けた医療従事者 ID とパスワードとの組み合わせを、医療従事者ログオンテーブル 1 3 0 0 の記憶内容と照合する ( ステップ S 3 7 0 4 ) 。次に、制御装置 1 1 0 は、受け付けた医療従事者 ID とパスワードとの組み合わせが、医療従事者ログオンテーブル 1 3 0 0 の医療従事者 ID 項目の医療従事者 ID とパスワード項目のパスワードの組み合わせと一致するか否かを判定する ( ステップ S 3 7 0 5 ) 。

## 【 0 2 9 6 】

ここで、一致しない場合 ( ステップ S 3 7 0 5 : N o ) 、制御装置 1 1 0 は、ステップ S 3 7 0 2 の処理に戻る。一方で、一致する場合 ( ステップ S 3 7 0 5 : Y e s ) 、制御装置 1 1 0 は、集計テーブル 1 2 0 0 のプロジェクト ID 項目に設定されたプロジェクト ID を含む、プロジェクト選択画面の画面情報を医療従事者用装置 1 1 3 に送信する ( ステップ S 3 7 0 6 ) 。プロジェクト選択画面は、集計テーブル 1 2 0 0 に記憶してある統計情報と共に、所見数と、所見数が更新された更新日時とを合わせて表示するように画面情報を生成してもよい。また、プロジェクト選択画面は、所見数が更新された更新日時の新しい順にソートして表示するように画面情報を生成してもよい。

## 【 0 2 9 7 】

次に、制御装置 1 1 0 は、プロジェクト選択画面に入力されたプロジェクト ID を受信する ( ステップ S 3 7 0 7 ) 。そして、制御装置 1 1 0 は、集計テーブル 1 2 0 0 のうちで、受信したプロジェクト ID がプロジェクト ID 項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードの各項目の内容を含む、精神状態管理画面 2 6 0 0 の画面情報を作成する ( ステップ S 3 7 0 8 ) 。

## 【 0 2 9 8 】

次に、制御装置 1 1 0 は、作成した精神状態管理画面 2 6 0 0 の画面情報を医療従事者用装置 1 1 3 に送信する ( ステップ S 3 7 0 9 ) 。そして、制御装置 1 1 0 は、医療従事者からのアクセスに対する応答処理を終了する。

## 【 0 2 9 9 】

( プロジェクト管理者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順 )

次に、図 3 8 を用いて、プロジェクト管理者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例について説明する。

## 【 0 3 0 0 】

図 3 8 は、プロジェクト管理者からのアクセスに対する制御装置 1 1 0 の応答処理手順の一例を示すフローチャートである。図 3 8 において、制御装置 1 1 0 は、プロジェクト管理者用装置 1 1 4 からプロジェクト管理者のログオン画面 2 2 0 0 のアドレスへのアクセスを受け付ける ( ステップ S 3 8 0 1 ) 。

## 【 0 3 0 1 】

次に、制御装置 1 1 0 は、プロジェクト管理者のログオン画面の画面情報をプロジェクト管理者用装置 1 1 4 に送信する ( ステップ S 3 8 0 2 ) 。そして、制御装置 1 1 0 は、

10

20

30

40

50

ログオン画面に入力されたプロジェクト管理者IDとパスワードとを受け付ける（ステップS3803）。

【0302】

そして、制御装置110は、受け付けたプロジェクト管理者IDとパスワードとの組み合わせを、プロジェクト管理者ログオンテーブル900の記憶内容と照合する（ステップS3804）。次に、制御装置110は、受け付けたプロジェクト管理者IDとパスワードとの組み合わせが、プロジェクト管理者ログオンテーブル900のプロジェクト管理者ID項目のプロジェクト管理者IDとパスワード項目のパスワードの組み合わせと一致するか否かを判定する（ステップS3805）。

【0303】

ここで、一致しない場合（ステップS3805：No）、制御装置110は、ステップS3802の処理に戻る。一方で、一致する場合（ステップS3805：Yes）、制御装置110は、集計テーブル1200のプロジェクトID項目に設定されたプロジェクトIDを含む、プロジェクト選択画面の画面情報をプロジェクト管理者用装置114に送信する（ステップS3806）。

【0304】

次に、制御装置110は、プロジェクト選択画面に入力されたプロジェクトIDを受信する（ステップS3807）。そして、制御装置110は、集計テーブル1200のうちで、受信したプロジェクトIDがプロジェクトID項目に設定されたレコードを特定して、特定したレコードの各項目の内容を含む、グループ管理画面2300の画面情報を作成する（ステップS3808）。

【0305】

次に、制御装置110は、作成したグループ管理画面2300の画面情報をプロジェクト管理者用装置114に送信する（ステップS3809）。そして、制御装置110は、プロジェクト管理者からのアクセスに対する応答処理を終了する。

【0306】

以上説明したように、精神疾患予防支援システム100によれば、グループに属するメンバーが入力したコメントを、グループに属さない支援者に送信することにより、メンバーの精神疾患の予兆を発見する機会を支援者にまで広げることができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力したコメントを、グループに属する他のメンバーには閲覧させず、グループに属さない支援者に閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなくコメントを入力することができる環境を提供することができる。

【0307】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した指標値の統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信してもよい。また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した他のメンバーへのサンクストークンの統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信してもよい。

【0308】

これにより、精神疾患予防支援システム100は、プロジェクト管理者にグループの状態を把握させて、プロジェクト管理者にグループの状態改善を促すことができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、グループに属するプロジェクト管理者には、指標値やサンクストークンそのものを閲覧させることなく、指標値やサンクストークンに基づく統計情報にしてから閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなく、

10

20

30

40

50



指標値やサンクストークンを入力することができる環境を提供することができる。

【0309】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、指標値の統計情報を医療従事者に提供して、医療従事者にグループの状態を把握させることができ、医療従事者が精神疾患の対策をすることを支援することができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、医療従事者が複数のグループの各々のグループに属するすべてのメンバーの精神状態を監視しなくてもよくなる。これにより、医療従事者の負担を低減することができる。医療従事者は、精神疾患の可能性のあるメンバーに集中して精神疾患の対策をすることができる。

【0310】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーが入力した指標値の統計情報を算出し、グループに属し、グループを管理するプロジェクト管理者が使用するプロジェクト管理者用装置114に、算出した統計情報を送信することができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、プロジェクト管理者にグループの状態を把握させて、プロジェクト管理者にグループの状態改善を促すことができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、グループに属するプロジェクト管理者には、指標値そのものを閲覧させることなく、指標値に基づく統計情報にしてから閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、メンバーが、グループに属する他のメンバーとの人間関係およびグループに属しグループを管理するプロジェクト管理者からの人事評価などを気にすることなく、指標値を入力することができる環境を提供することができる。

【0311】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーに、メンバーが使用するメンバー用装置111によって、他のメンバーからのサンクストークンを閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、メンバーの間の交流を活性化して、精神疾患の予防を支援することができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、サンクストークンの統計情報を医療従事者に提供して、医療従事者にメンバーの間の交流の度合いを把握させることができ、医療従事者が精神疾患の対策をすることを支援することができる。

【0312】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーに、メンバーが使用するメンバー用装置111によって、メンバーに対する支援者からの一言アドバイスを閲覧させることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、一言アドバイスのやり取りによりメンバーと支援者との交流を活性化して、精神疾患の予防を支援することができる。また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバーと支援者との交流を活性化して、支援者に閲覧されるメンバーのコメントを入力しやすい環境を提供することができる。

【0313】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、メンバー用装置111からメンバーの認証情報を受信して、メンバーの認証に成功してから、メンバー用装置111と情報をやり取りすることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、メンバー以外の者が、メンバー用装置111を使用して、メンバーの指標値を入力したり、メンバーのコメント、およびサンクストークンを閲覧したりすることを防止することができる。

【0314】

また、精神疾患予防支援システム100によれば、支援者用装置112から支援者の認証情報を受信して、支援者の認証に成功してから、支援者用装置112と情報をやり取りすることができる。これにより、精神疾患予防支援システム100は、支援者以外の者が、支援者用装置112を使用して、メンバーのコメントなどを閲覧したりすることを防止することができる。

【0315】

また、精神疾患予防支援システム１００によれば、医療従事者用装置１１３から医療従事者の認証情報を受信して、医療従事者の認証に成功してから、医療従事者用装置１１３と情報をやり取りすることができる。これにより、精神疾患予防支援システム１００は、医療従事者以外の者が、医療従事者用装置１１３を使用して、メンバーの指標値、コメント、サンクストークン、メンバーの指標値およびサンクストークンに基づく統計情報を閲覧することを防止することができる。

【０３１６】

また、精神疾患予防支援システム１００によれば、プロジェクト管理者用装置１１４からプロジェクト管理者の認証情報を受信して、プロジェクト管理者の認証に成功してから、プロジェクト管理者用装置１１４と情報をやり取りすることができる。これにより、精神疾患予防支援システム１００は、プロジェクト管理者以外の者が、プロジェクト管理者用装置１１４を使用して、メンバーの指標値、およびサンクストークンに基づく統計情報を閲覧することを防止することができる。

10

【０３１７】

また、精神疾患予防支援システム１００によれば、メンバーが主観に基づいて入力した指標値やコメントを、支援者や医療従事者に閲覧させることができ、メンバーの精神状態を把握しやすくする環境を提供することができる。また、精神疾患予防支援システム１００によれば、外部のカウンセリングに関する知識を有する支援者を有効に活用して、精神疾患支援の予防を支援することができる。また、精神疾患予防支援システム１００によれば、医療従事者に、各々のテーブルの記憶内容と、実際に精神疾患にかかったメンバーと、を参照させることにより、精神疾患にかかる場合の各々のテーブルの内容の規則性を発見しやすくする環境を提供することができる。

20

【０３１８】

ここで、従来では、医療従事者が相談ブースなどを設けてメンバーからの相談を受け付けることが行われている。しかしながら、この場合、メンバーの自覚症状がなく相談に訪れない場合、またはメンバーが相談にかかる時間が不足している場合などには、精神疾患の予防ができないことがある。また、この場合、メンバーの精神疾患が軽度なうちに発見することができないことがある。また、この場合、近年の労働環境の多様化によって、自宅勤務をするメンバー、他社に出向して勤務するメンバー、または複数の会社から集まったメンバーなど多様なメンバーがいる場合には、医療従事者が対応できないことがある。

30

【０３１９】

一方で、本実施の形態の精神疾患予防支援システム１００によれば、メンバーが入力した精神状態を表す指標値に基づいて精神疾患の発見を支援することができる。このため、本実施の形態の精神疾患予防支援システム１００によれば、メンバーが精神状態を表す指標値を入力すればよく、医療従事者に相談する場合に比べて、メンバーが気軽に参加できる環境を提供することができる。また、本実施の形態の精神疾患予防支援システム１００によれば、多様なメンバーがいる場合であっても、各々のメンバーがメンバー用装置１１１から指標値やコメントを入力すればよいため、多様なメンバーがいる場合にも対応することができ、精神疾患の予兆の発見を支援することができる。

【０３２０】

40

ここで、従来では、年に複数回、ストレスチェックなどのテストを行って、メンバーの精神疾患を検査することが行われている。しかしながら、この場合、ストレスチェックなどのテストにかかる時間が膨大になってしまう。また、この場合、鬱病などの精神疾患の予兆が出始めてから実際に鬱病などの精神疾患によって労働に支障が出るまでの期間といわれる２週間に比べて、テストの実施間隔が長いため、精神疾患の予兆を発見できない場合がある。

【０３２１】

一方で、本実施の形態の精神疾患予防支援システム１００によれば、メンバーが入力した精神状態を表す指標値に基づいて精神疾患の発見を支援することができる。このため、本実施の形態の精神疾患予防支援システム１００によれば、メンバーが精神状態を表す指

50

標値を入力すればよく、ストレスチェックなどのテストを行う場合に比べて、メンバーが気軽に参加できる環境を提供することができる。

【 0 3 2 2 】

また、本実施の形態の精神疾患予防支援システム 1 0 0 によれば、メンバーがメンバー用装置 1 1 1 を用いてコメントをいつでも入力することができる。これにより、本実施の形態の精神疾患予防支援システム 1 0 0 は、鬱病などの精神疾患の予兆が出始めてから実際に鬱病などの精神疾患によって労働に支障が出るまでの期間といわれる 2 週間における、メンバーからの精神疾患の予兆を発見しやすくする環境を提供することができる。

【 0 3 2 3 】

なお、本実施の形態で説明した精神疾患予防支援方法は、予め用意されたプログラムをパーソナル・コンピュータやワークステーション等のコンピュータで実行することにより実現することができる。本精神疾患予防支援プログラムは、ハードディスク、フレキシブルディスク、C D - R O M、M O、D V D 等のコンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録され、コンピュータによって記録媒体から読み出されることによって実行される。また本精神疾患予防支援プログラムは、インターネット等のネットワークを介して配布してもよい。

【 0 3 2 4 】

上述した実施の形態に関し、さらに以下の付記を開示する。

【 0 3 2 5 】

( 付記 1 ) グループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶する利用者記憶部を有するコンピュータが、

前記メンバーの識別情報に対応する第 1 の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第 1 の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第 1 の情報処理装置から前記第 1 の入力画面に入力された前記コメントまたは / および前記指標値を受信し、

受信した前記コメントまたは / および前記指標値を前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶部に記憶し、

前記支援者の識別情報に対応する第 2 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の可否を示す情報を入力する第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信する、

処理を実行することを特徴とする精神疾患予防支援方法。

【 0 3 2 6 】

( 付記 2 ) 前記利用者記憶部は、前記グループを管理する管理者を識別する管理者の識別情報を記憶し、

前記コンピュータが、

前記管理者の識別情報に対応する第 4 の情報処理装置に、前記記憶部に記憶された指標値に基づく前記グループにおける指標値の統計情報を送信する、

処理を実行することを特徴とする付記 1 に記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 2 7 】

( 付記 3 ) 前記コンピュータが、

前記グループに属する他のメンバーの識別情報に対応する第 5 の情報処理装置に、前記メンバーへのメッセージを入力する第 3 の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第 5 の情報処理装置から前記第 3 の入力画面に入力された前記メッセージを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、前記他のメンバーの識別情報と、受信した前記メッセージとを、前記記憶部に記憶し、

10

20

30

40

50

前記第 1 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する、

処理を実行することを特徴とする付記 1 または 2 に記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 2 8 】

( 付記 4 ) 前記コンピュータが、

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報と、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された指標値と他のメンバーの識別情報とメッセージとを送信する、

処理を実行することを特徴とする付記 3 に記載の精神疾患予防支援方法。

10

【 0 3 2 9 】

( 付記 5 ) 前記コンピュータが、

前記グループを管理する管理者に対応する第 4 の情報処理装置に、前記記憶部に記憶された他のメンバーの識別情報とメッセージとに基づく前記グループにおけるメッセージの統計情報を送信する、

処理を実行することを特徴とする付記 3 または 4 に記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 3 0 】

( 付記 6 ) 前記第 2 の入力画面は、さらに、前記メンバーのコメントに対する応答コメントを入力する画面であって、

前記コンピュータが、

20

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記応答コメントを受信したことに応じて、前記メンバーの識別情報に対応付けて、受信した前記応答コメントを前記記憶部に記憶し、

前記第 1 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶された応答コメントを送信する、

処理を実行することを特徴とする付記 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 3 1 】

( 付記 7 ) 前記コンピュータが、

前記第 1 の情報処理装置から前記メンバーの認証情報を受信したことに応じて、受信した前記認証情報に基づいて前記メンバーの認証を行う処理を実行し、

30

前記第 1 の入力画面を表す画面情報を送信する処理は、前記メンバーの認証に成功したことに応じて、前記第 1 の情報処理装置に、前記第 1 の入力画面を表す画面情報を送信することを特徴とする付記 1 ~ 6 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 3 2 】

( 付記 8 ) 前記コンピュータが、

前記第 2 の情報処理装置から前記支援者の認証情報を受信したことに応じて、受信した前記認証情報に基づいて前記支援者の認証を行う処理を実行し、

前記第 2 の入力画面を表す画面情報を送信する処理は、前記支援者の認証に成功したことに応じて、前記第 2 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信することを特徴とする付記 1 ~ 7 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

40

【 0 3 3 3 】

( 付記 9 ) 前記コンピュータが、

前記第 3 の情報処理装置から前記医療従事者の認証情報を受信したことに応じて、受信した前記認証情報に基づいて前記医療従事者の認証を行う処理を実行し、

前記指標値を送信する処理は、前記医療従事者の認証に成功したことに応じて、前記第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信することを特徴とする付記 1 ~ 8 のいずれか一つに記載の精神疾患予防支援方法。

【 0 3 3 4 】

50

(付記 10) コンピュータに、

利用者記憶部にグループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶させ、

前記メンバーの識別情報に対応する第 1 の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第 1 の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第 1 の情報処理装置から前記第 1 の入力画面に入力された前記コメントまたは / および前記指標値を受信し、

前記メンバーの識別情報に対応付けて、受信した前記コメントまたは / および前記指標値を記憶部に記憶し、

10

前記支援者の識別情報に対応する第 2 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の可否を示す情報を入力する第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信する、

処理を実行させることを特徴とする精神疾患予防支援プログラム。

【0335】

(付記 11) グループに属するメンバーを識別するメンバーの識別情報と、前記メンバーを支援する支援者を識別する支援者の識別情報と、医療従事者を識別する医療従事者の識別情報とを記憶する利用者記憶部と、

20

前記メンバーの識別情報に対応する第 1 の情報処理装置に、前記メンバーのコメントと精神状態を表す指標値とを入力する第 1 の入力画面を表す画面情報を送信し、

前記第 1 の情報処理装置から前記第 1 の入力画面に入力された前記コメントまたは / および前記指標値を受信し、

受信した前記コメントまたは / および前記指標値を前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶部に記憶し、

前記支援者の識別情報に対応する第 2 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて前記記憶部に記憶されたコメントと、前記医療従事者への通報の可否を示す情報を入力する第 2 の入力画面を表す画面情報と、を送信し、

30

前記第 2 の情報処理装置から前記第 2 の入力画面に入力された前記医療従事者への通報が必要であることを示す情報を受信したことに応じて、前記医療従事者の識別情報に対応する第 3 の情報処理装置に、前記メンバーの識別情報に対応付けて記憶された情報を送信する制御部と、

を有することを特徴とする精神疾患予防支援装置。

【符号の説明】

【0336】

100 精神疾患予防支援システム

110 制御装置

40

111 メンバー用装置

112 支援者用装置

113 医療従事者用装置

114 プロジェクト管理者用装置

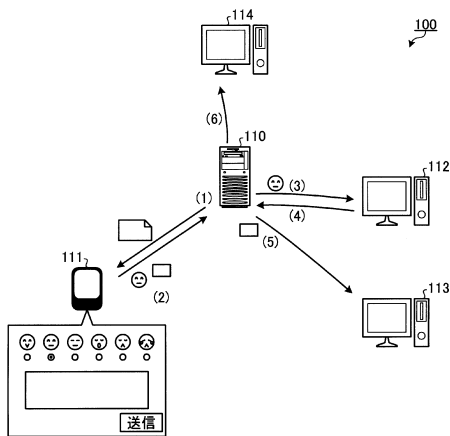
1401 記憶部

1402 通信部

1403 制御部

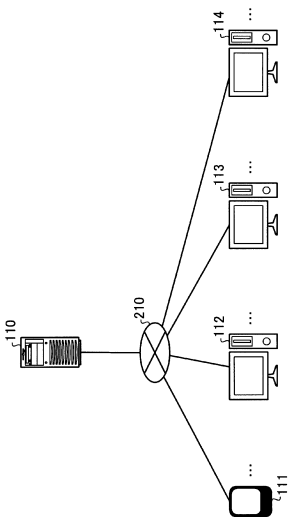
【図 1】

精神疾患予防支援システム100の一実施例を示す説明図



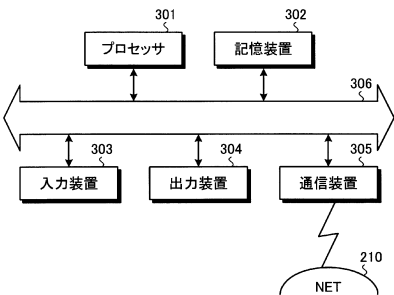
【図 2】

図1に示した精神疾患予防支援システム100のシステム構成の一例を示す説明図



【図 3】

制御装置110になるコンピュータのハードウェア構成例を示すブロック図



【図 5】

ニコニコマークテーブル500の記憶内容の一例を示す説明図

ニコニコマーク テーブル 500		
メンバーID	日付	ニコニコマーク
PjM001	2013/8/22	6
PjM001	2013/8/21	5
⋮	⋮	⋮

【図 4】

ログオンテーブル400の記憶内容の一例を示す説明図

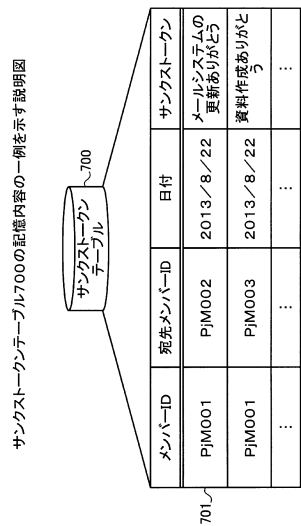
ログオンテーブル 400		
メンバーID	パスワード	機器ID
PjM001	YmdTr	(登録なし)
PjM002	WtnKz	M001
⋮	⋮	⋮

【図 6】

つぶやきテーブル600の記憶内容の一例を示す説明図

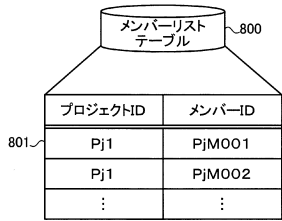
つぶやきテーブル 600			
メンバーID	フラグ	日付	つぶやき
PjM001	1	2013/8/22	星旗まきつた おやなや、せつかく の屋敷、緊急でした ね。明日からは用急 前刻に運びましょ う。
PjM001	0	2013/8/22	
⋮	⋮	⋮	⋮

【図 7】



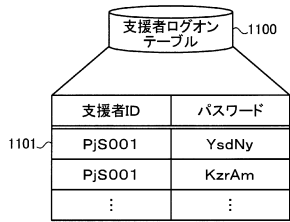
【図 8】

メンバーリストテーブル800の記憶内容の一例を示す説明図



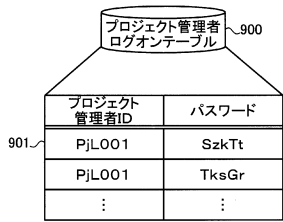
【図 1 1】

支援者ログオンテーブル1100の記憶内容の一例を示す説明図



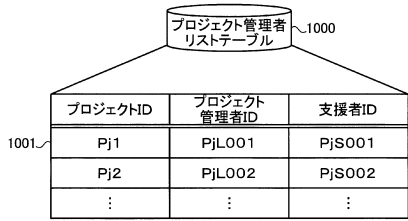
【図 9】

プロジェクト管理者ログオンテーブル900の記憶内容の一例を示す説明図



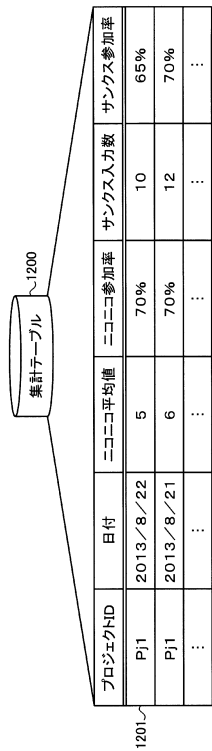
【図 1 0】

プロジェクト管理者リストテーブル1000の記憶内容の一例を示す説明図



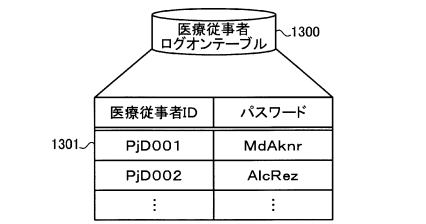
【図 1 2】

集計テーブル1200の記憶内容の一例を示す説明図



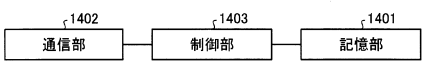
【図 1 3】

医療従事者ログオンテーブル1300の記憶内容の一例を示す説明図



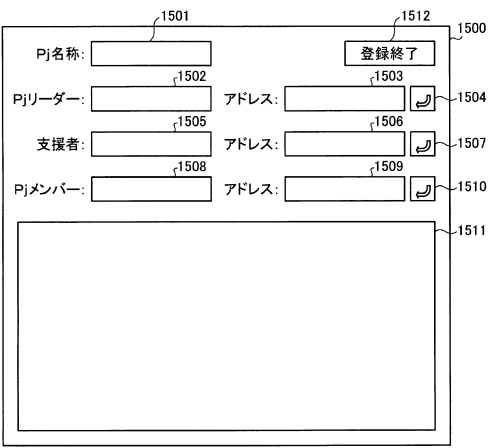
【図 1 4】

精神疾患予防支援装置の機能的構成例を示すブロック図



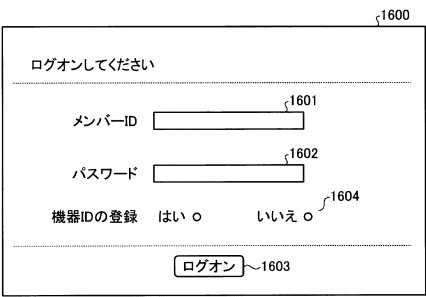
【図 1 5】

メンバーの登録の一例を示す説明図



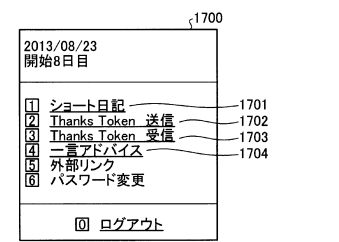
【図 1 6】

メンバーのログオンの一例を示す説明図



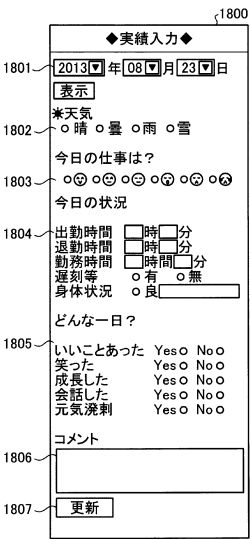
【図 1 7】

メンバーの操作の一例を示す説明図



【図 1 8】

メンバーの指標値とコメントとの入力の一例を示す説明図





【図 19】

メンバーのサンクストークンの送信の一例を示す説明図

1900

Thanks Token

2013/08/23

送信時間: 09:25:00

宛先

鈴木太郎

田中一郎

<内容>

送信

1901

1902

1903

【図 21】

メンバーの一言アドバイスの閲覧の一例を示す説明図

2100

一言アドバイス

お客様対応、お疲れ様です。  
その後、調子はいかがですか。  
勤務時間外に自宅にまで  
電話がかかってきてはご家族  
にも  
迷惑ですね。  
プロジェクトは組織でやるもの  
ですから、困ったことは、どしどし  
私や周囲に相談してください  
ね。

支援者 鈴木

2102

2013/08/22

2013/08/22

2013/08/21

2101

【図 20】

メンバーのサンクストークンの閲覧の一例を示す説明図

2000

<サンクストークン>

メールシステムの更新ありがとう

田中一郎

2002

2013/08/22 鈴木太郎

2013/08/22 田中一郎

2013/08/21 高橋洋一

2001

【図 22】

プロジェクト管理者のログオンの一例を示す説明図

2200

ログインしてください

プロジェクト管理者 ID

パスワード

ログイン

2201

2202

2203

【図 23】

プロジェクト管理者の操作の一例を示す説明図

2300

チーム体温計

ニコニコ指数

ニコニコ指数推移

Thanks Token

出勤率

参加者平均 5

参加者平均 78%

参加者平均 6人

参加者平均 5人

参加者平均 1人

参加者平均 14人

参加者平均 1人

参加者平均 3人

グループ合計 92個

参加者平均 3.8個

参加者平均 64%

年休取得 2名

年休取得 1名

年休取得 遅刻

メンバーへの一言

2301

【図 24】

支援者の操作の一例を示す説明図

2400

メンバー一覧

1 2 3

No.

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

メンバーID

PJM001

PJM002

PJM003

PJM004

PJM005

PJM006

PJM007

PJM008

PJM009

PJM010

最新ジョーント日付

2013/08/23

2013/08/22

2013/08/22

2013/08/22

2013/08/22

2013/08/21

2013/08/21

2013/08/22

2013/08/22

2013/08/22

一言アドバイス日付

2013/08/23

2013/08/20

2013/08/21

2013/08/22

2013/08/19

2013/08/15

2013/08/23

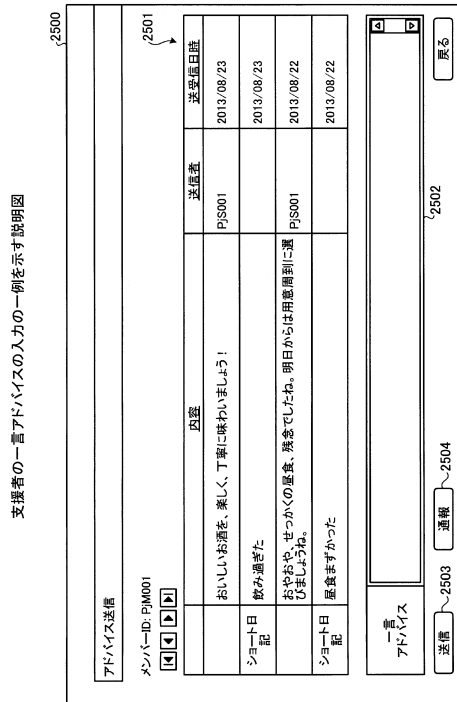
2013/08/22

2013/08/21

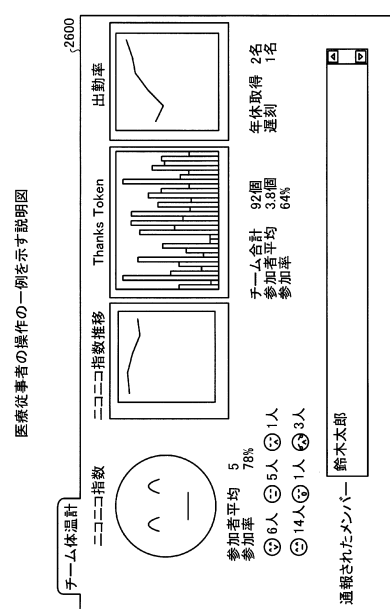
2013/08/20

2401

【 図 2 5 】

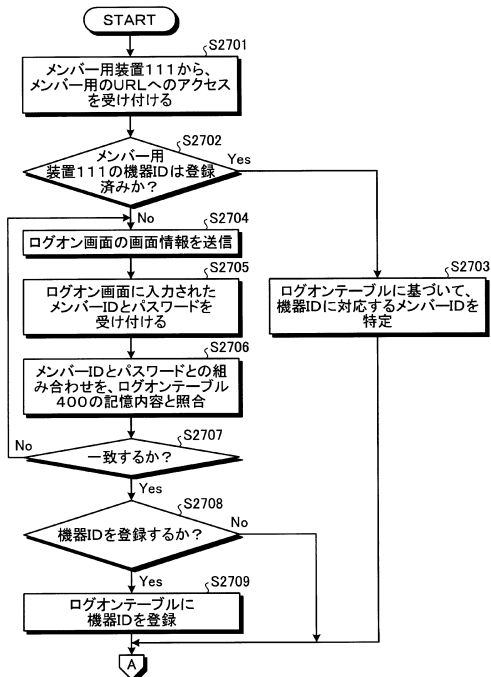


【 図 2 6 】



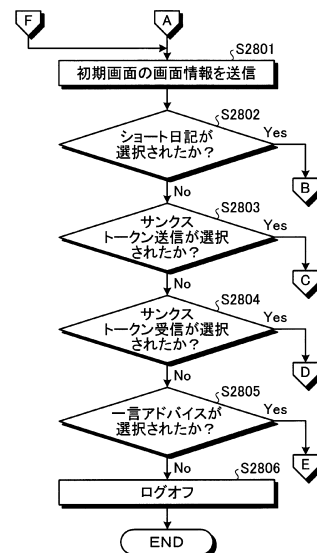
【 図 2 7 】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その1)



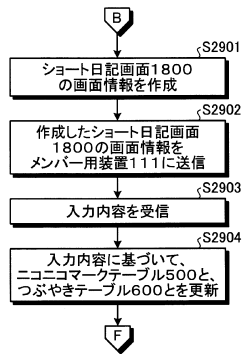
【 図 2 8 】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その2)



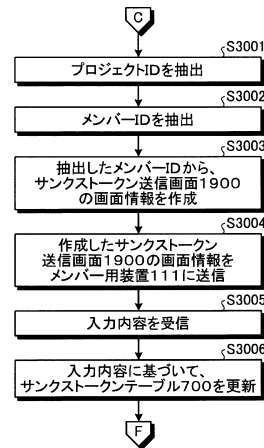
【図 29】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その3)



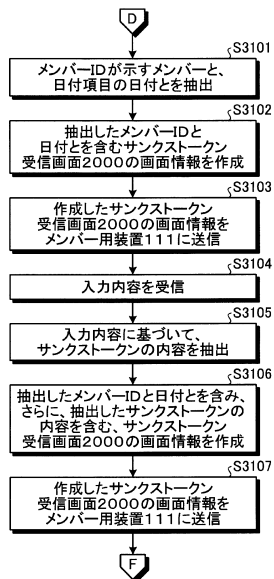
【図 30】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その4)



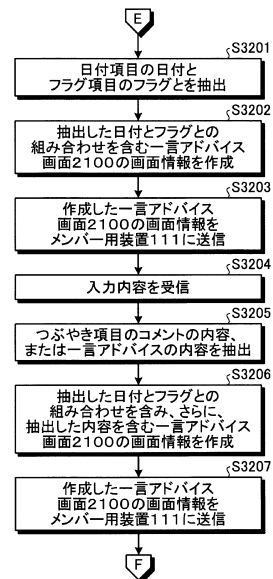
【図 31】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その5)



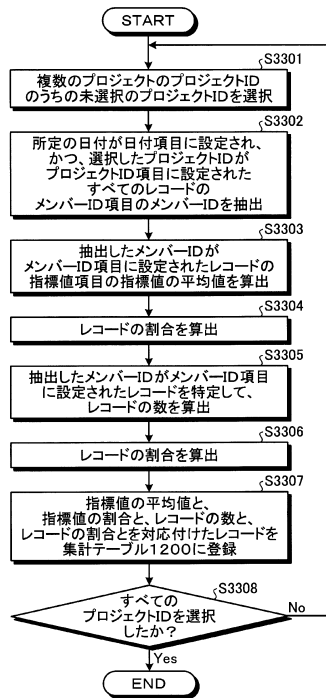
【図 32】

メンバーからのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート(その6)



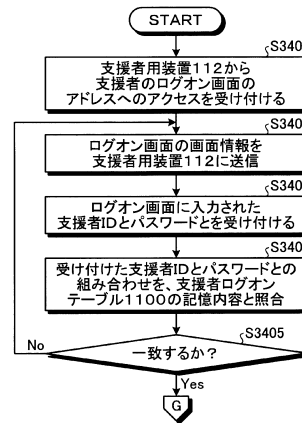
【図 3 3】

制御装置110の集計処理手順の一例を示すフローチャート



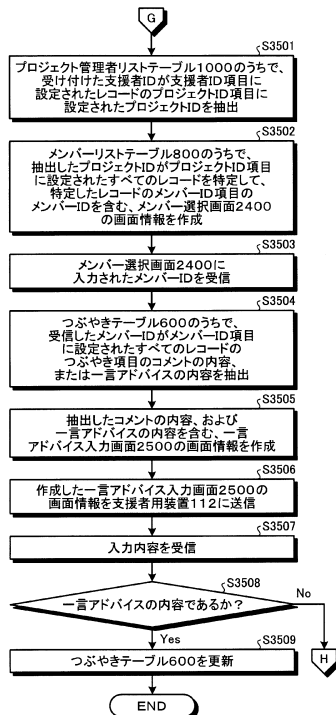
【図 3 4】

支援者からのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順の一例を示すフローチャート(その1)



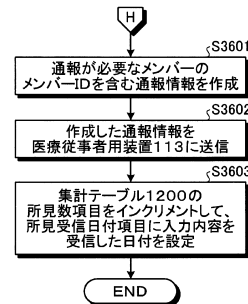
【図 3 5】

支援者からのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順の一例を示すフローチャート(その2)



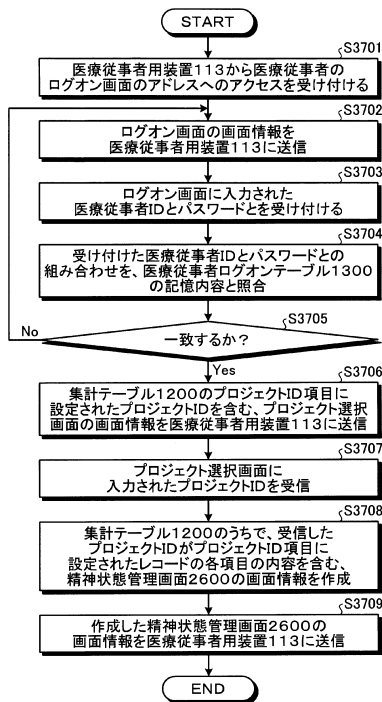
【図 3 6】

支援者からのアクセスに対する制御装置110の応答処理手順の一例を示すフローチャート(その3)



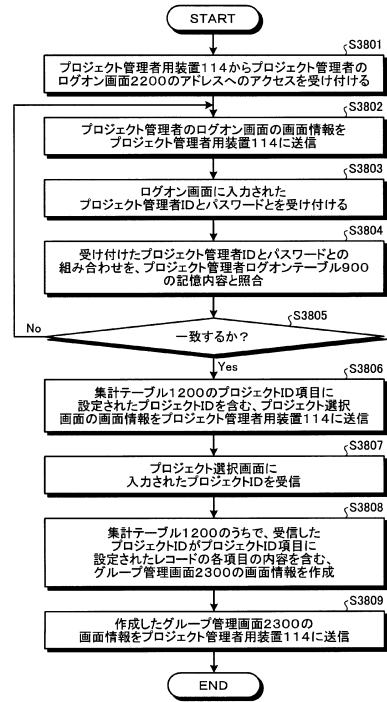
【図 37】

医療従事者からのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート



【図 38】

プロジェクト管理者からのアクセスに対する制御装置110の  
応答処理手順の一例を示すフローチャート



---

フロントページの続き

(56)参考文献 特開 2 0 0 8 - 1 2 9 8 0 5 ( J P , A )  
特開 2 0 1 0 - 2 7 7 4 7 6 ( J P , A )  
特開 2 0 0 2 - 2 0 7 8 3 0 ( J P , A )  
特開 2 0 0 4 - 2 1 3 1 6 9 ( J P , A )  
特開 2 0 0 6 - 1 2 7 1 4 2 ( J P , A )  
特開 2 0 0 2 - 2 3 6 7 4 6 ( J P , A )  
国際公開第 2 0 1 1 / 1 3 6 2 5 3 ( W O , A 1 )

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)  
G 0 6 Q 1 0 / 0 0 - 9 9 / 0 0